

東洋大学

理工学部 建築学科

「 建築生産 I 」



建築生産設計協力会

CONTENTS

- ① 自己紹介
- ② 生産設計（施工図）概論
- ③ 実務における生産設計
- ④ 生産設計の今後



株式会社佐沼建築システムデザイン

代表取締役社長 中村 務

昭和48年（1973年）生まれ 52歳

大阪府 東大阪市 出身

一級建築士（第386148号）

令和3年
48歳で合格

小学校時代



高畑充希と同じ

1・2年生は**地元**の小学校
3年生より**一貫教育**の学校へ編入

三菱地所と次にいこう。

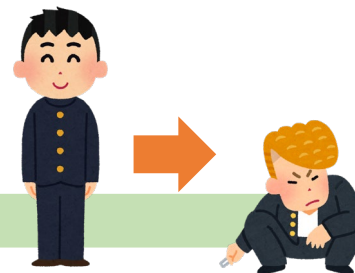
次



1時間通学は
しんどい

みつき 

中学時代



一貫校のため**受験は知らず**
ビー・バップ・ハイスクールの影響を受け、
何度か**キケン**な目にあう・・・



1985年

高校時代



バレーボールに打ち込む

鬼の夏合宿で

大盛ご飯に**プロテイン**かけられ

くたばりかけた



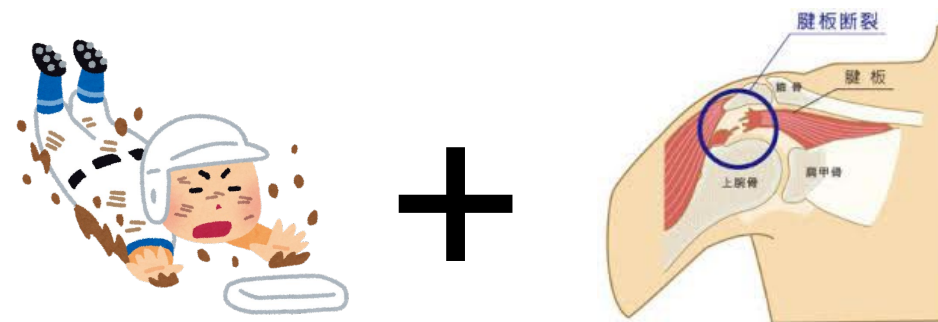
▶ 大学時代



バレーでひざを壊して、野球の道へ

3年の秋にヘッドスライディングした際、

右肩腱板を損傷し・・・そのまま**引退**



就職 (23歳)

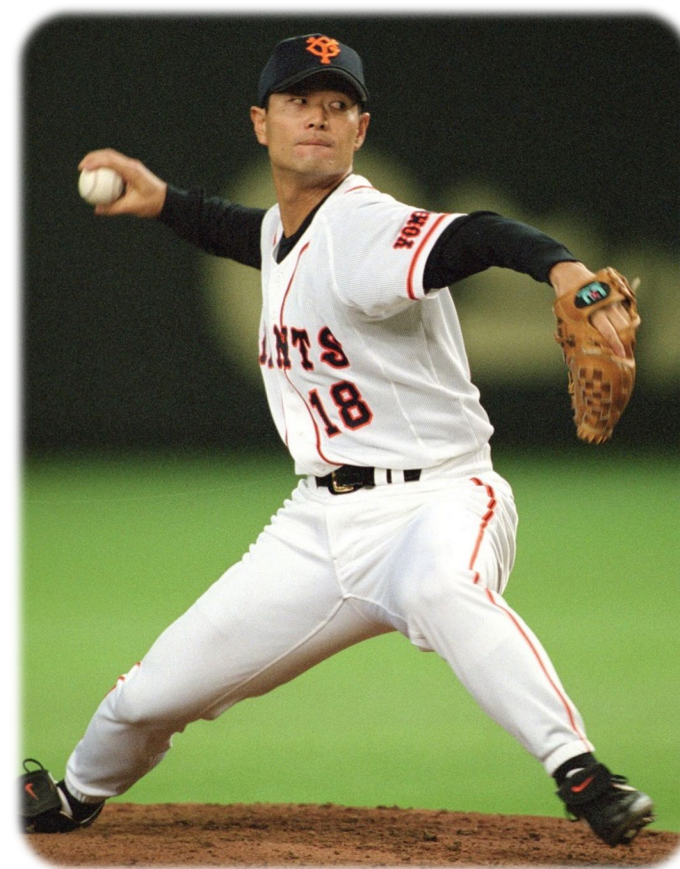


株式会社Dios入社

(現・ワールドペガサスジャパン株式会社)

なぜだか**ウィンター事業部**に配属され **1年で退職**

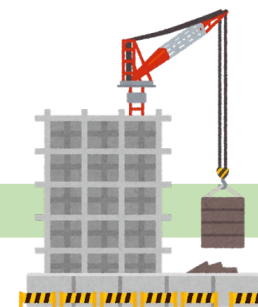
女子高生に
バズりまくり！



再入学 (24~25歳)



再就職 (26歳)



自分の家を自分で
設計してみたいとの安易な？
思い付きから

都内の**専門学校**で

2年間びっちり建築を学ぶ

先生のスズメで
設計事務所に入社・・・するも、
そこは意匠設計ではなく、

施工図会社だった。

入社早々 現場にブチ込まれ、46歳まで
現場第一主義で頑張りました！

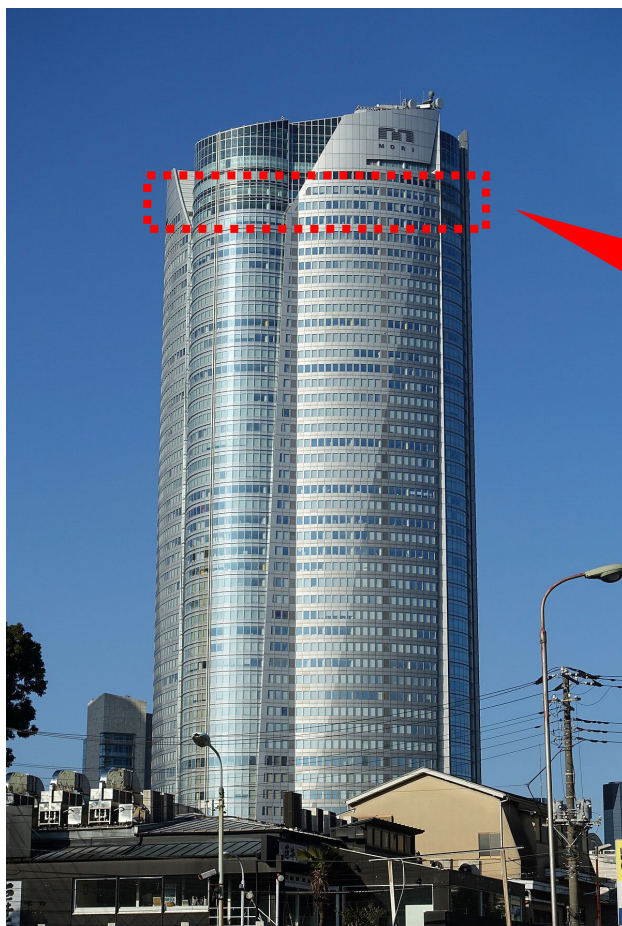
主なプロジェクト

屋上・美術館を担当

六本木六丁目地区第一種市街地再開発事業 → 六本木ヒルズ森タワー



ちょっとお知らせ！



藤本壮介の建築 2025.7.2 水 WED → 11.9 日 SUN
THE ARCHITECTURE OF SOU FUJIMOTO 森美術館 (六本木ヒルズ森タワー53階)
Mori Art Museum [53F, Roppongi Hills Mori Tower]



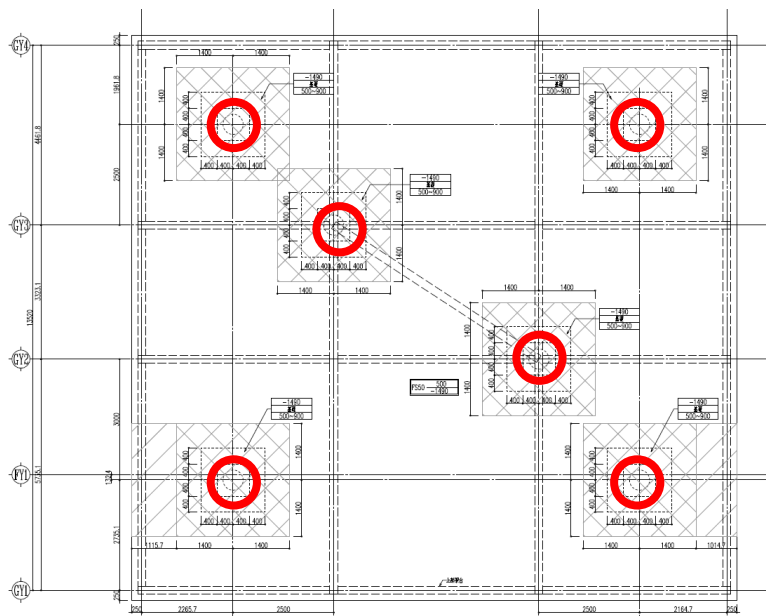
主なプロジェクト

外装・フェスティバル広場を担当

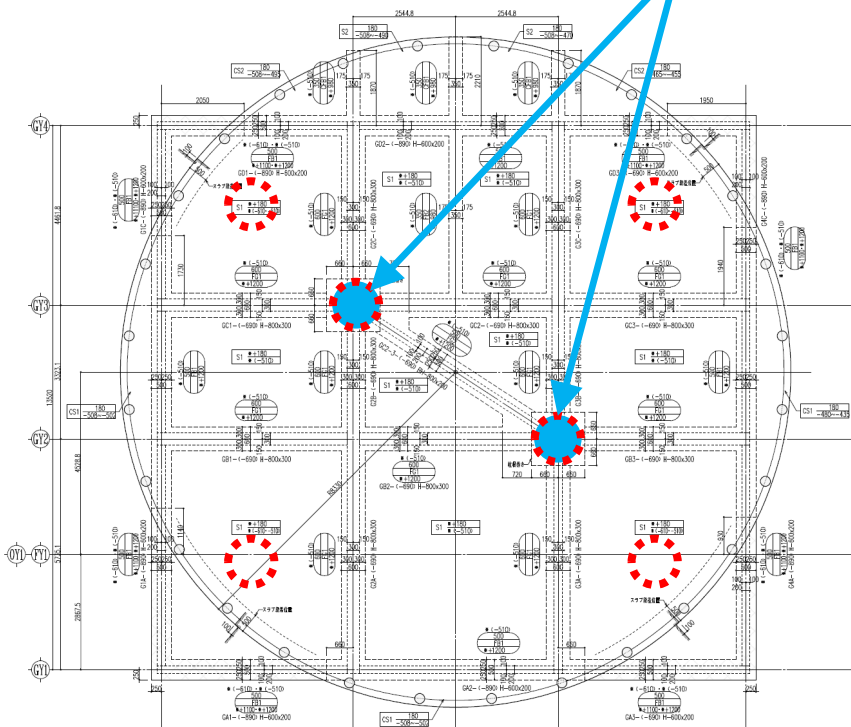
(仮称) 青海Q街区計画 → ダイバーシティ東京



ガンダムのひみつ



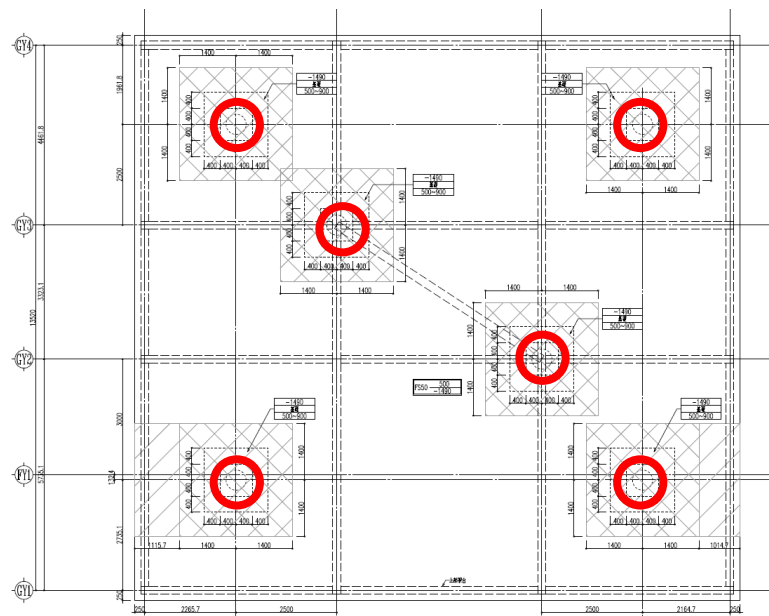
杭・基礎伏図



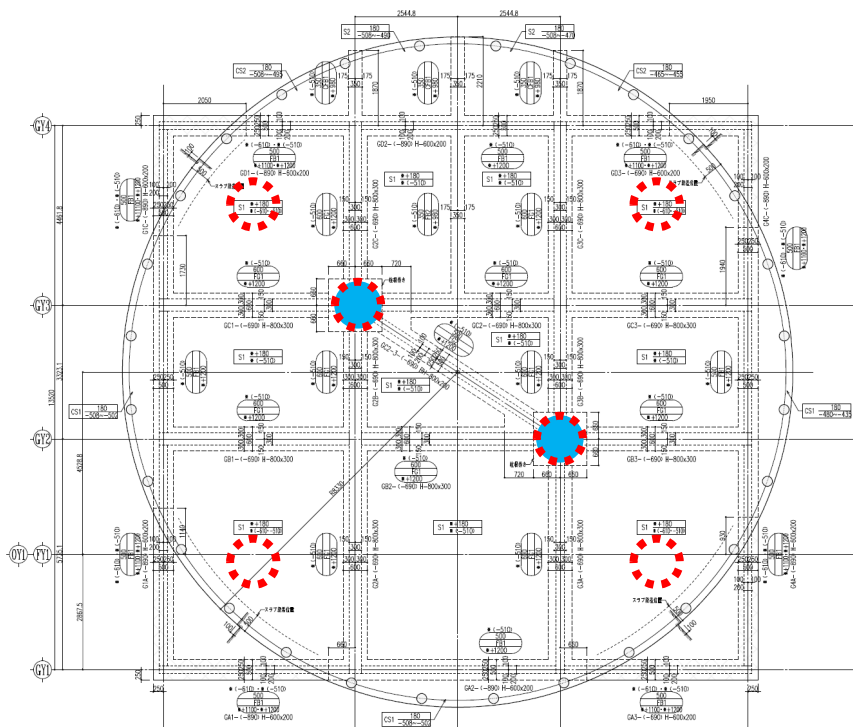
床伏図



ガンダムのひみつ



杭・基礎伏図



床伏図

ガンダム
高さ18m
重量43t



PHC杭
長さ37m

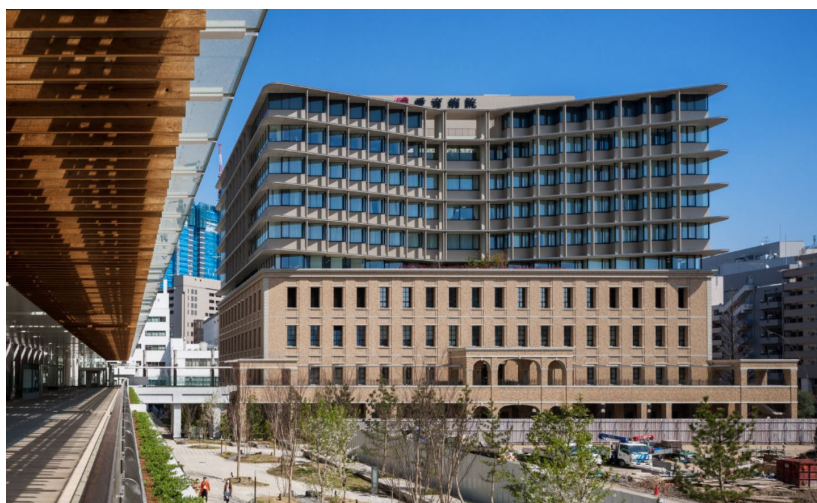
その他プロジェクト (病院4件)



順天堂東京江東
高齢者医療センター



帝京大学附属病院



愛育病院



済生会中央病院

その他プロジェクト (学校2件・オフィス2件)



早稲田大学高等学院



TOC有明



都立大江戸高等学校



最後に担当！

LIXIL
HOSHI棟

コロナの影響ここにも・・・

日経 XTECH



LIXILとグループ会社の一部は、東京・江東のWINGビルから東京・品川の住友不動産大崎ガーデンタワーへ本社を移転する。コロナ禍でテレワークが浸透したことが理由だ。移転によって本社面積を9割減らし、運用費の削減や資本効率の向上を図る。2021年12月6日に発表した。

新築したHOSHI棟には、同社の先端技術をふんだんに盛り込んでいた。ファサードには複層ガラスをカーテンウォールユニットにじかに接着する「ダイレクトボンディング型4辺SSG構法」を国内で初めて採用。リアルタイムで快適指数を解析し、空調と窓の開閉を自動制御する「ハイブリッド環境制御システム」と組み合わせて、高い省エネ性能を実現した。このビルは同社の技術力を対外的に示す場になっていた。

1階には永山祐子建築設計（東京・新宿）が手掛けた「オルタナティブ・トイレ」を設置している。LIXILが永山祐子氏とともに、性別不問のトイレについて考察・検討を重ねた末に生まれたものとしてアピールしていた。

LIXIL HOSHI棟 **竣工**

(**2019年**10月 竣工)

売却 決定 → マンションに建替え

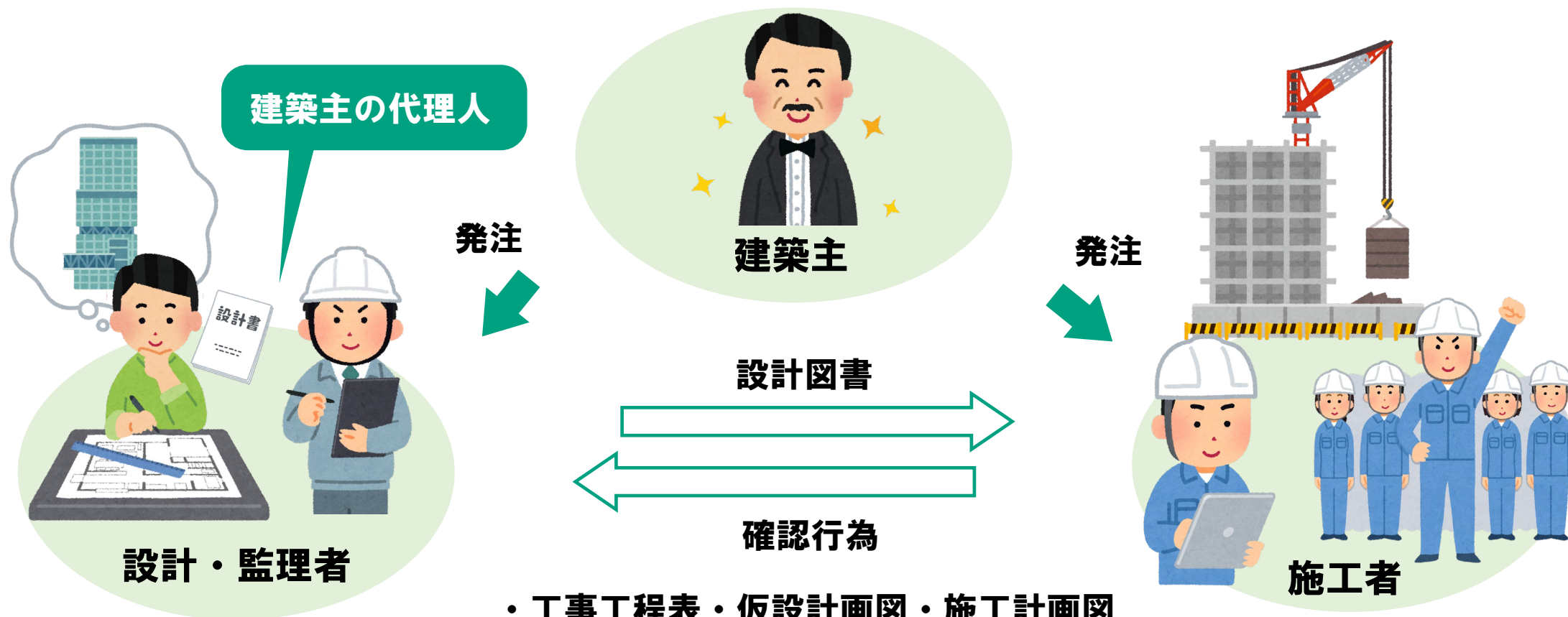
(**2021年**12月 発表)

② 生産設計（施工図）概論

- 1 建築生産とは
- 2 施工者とは
- 3 生産設計の重要性
- 4 重要から必要へ

1 建築生産とは

建物の企画から設計、施工、維持管理、改修、解体までに関わる活動をいう



② 施工者とは

施工者



生産設計会社
(施工図)

発注



総合建設会社
(ゼネコン)

総合図・施工図

発注



専門工事会社
(サブコン)

製作図

設計図書に基づいて実際に建物を作るために必要な図面を作成、マネジメントする

- ・電気、空調、衛生工事
- ・鋼構造、鉄筋、コンクリート
- ・防水、屋根、ガラス、内装仕上工事など

③ 生産設計の重要性

現場が抱える問題

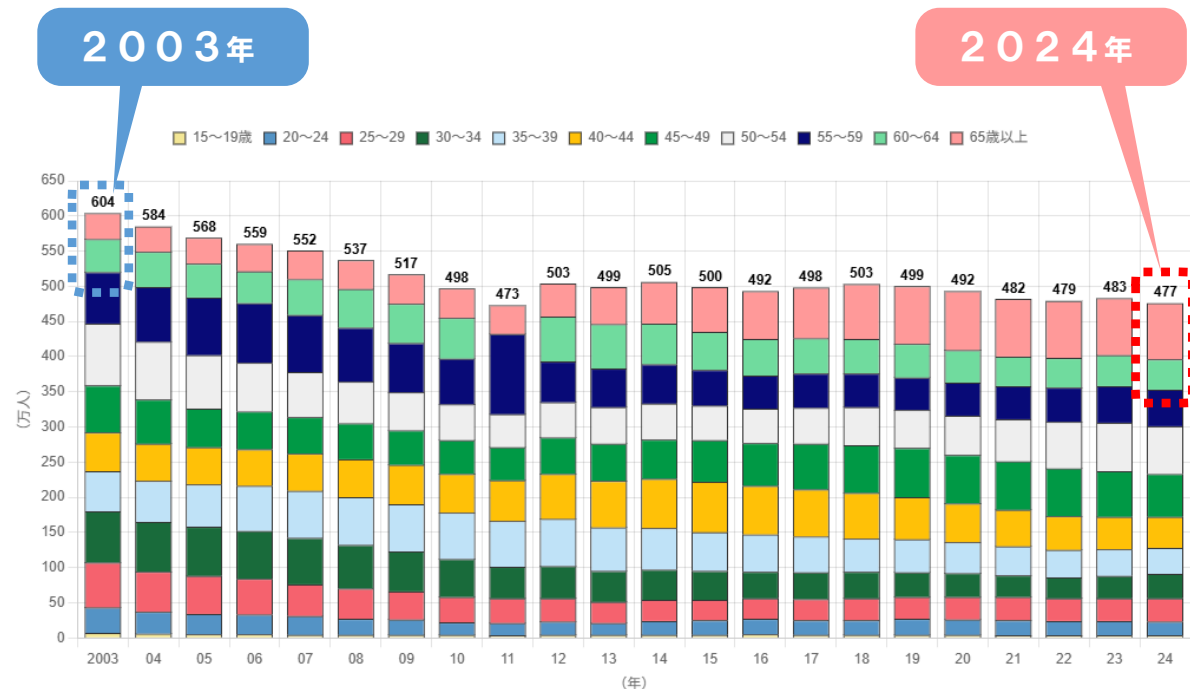
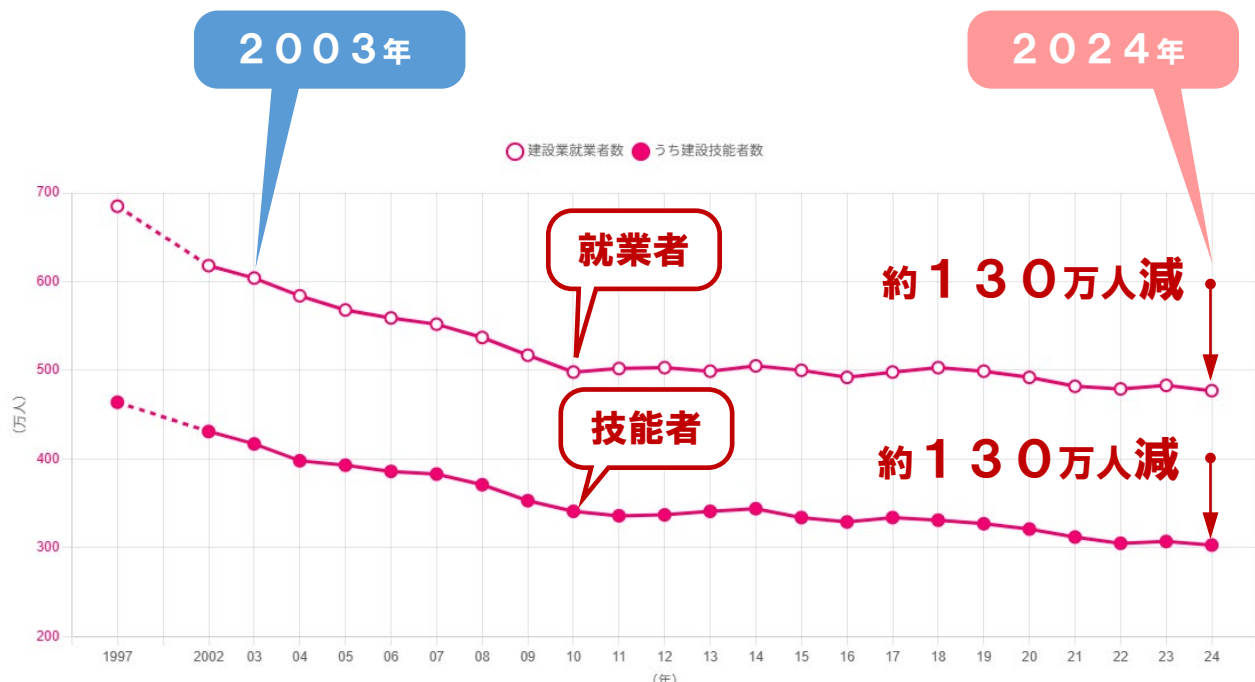
① 建物の大型化、複雑化



③ 生産設計の重要性

現場が抱える問題

② 就業者の減少と高齢化



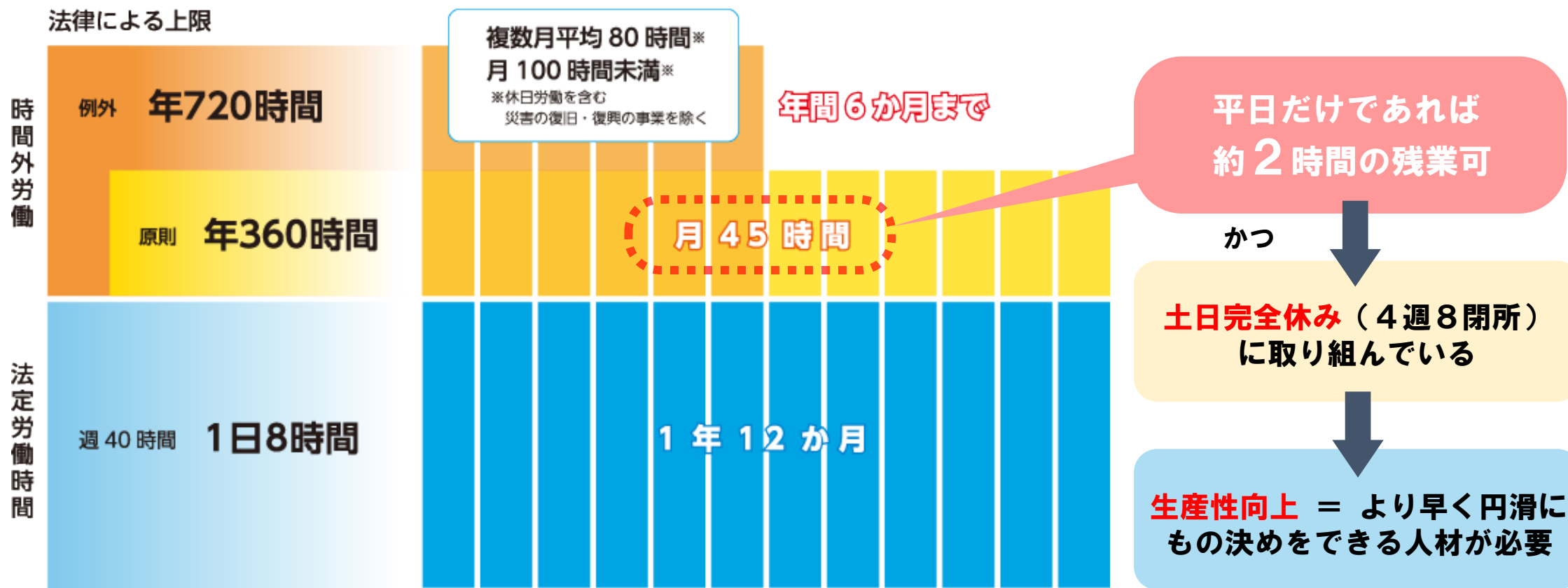
60歳以上 2003年 … 約14%
 2024年 … 約25%
 (4人に1人が60歳以上)

③ 生産設計の重要性

現場が抱える問題

③ 時間外労働の上限規制

2024年4月より



4 生産設計は重要から必要へ

- ① 建物の**大型化**、**複雑化**
- ② 就業者の**減少**と**高齢化**
- ③ 時間外労働の**上限規制**

という問題により



**設計思想・施工方針とも理解することができ、かつ
施工図、製作図をまとめ上げられる「生産設計者」が必要とされています**

4 生産設計は重要から必要へ

もし生産設計者がいなかったら…

建物品質の低下、約定工期の遅延、建設コスト増 につながります

（瑕疵）

（違約金）

（追加費用）

全てにおいてお金がたくさん掛かってしまう



そこには生産設計者にも建築士としての重要な責務があります

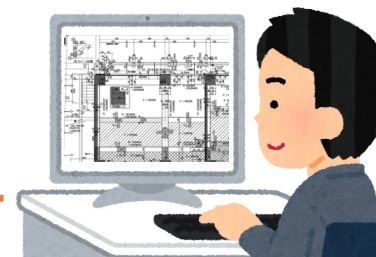


アーキテクト
意匠設計

一級建築士



エンジニア
生産設計



③ 実務における生産設計

1 設計図と施工図との比較

2 主な施工図

3 実施設計から生産設計へ

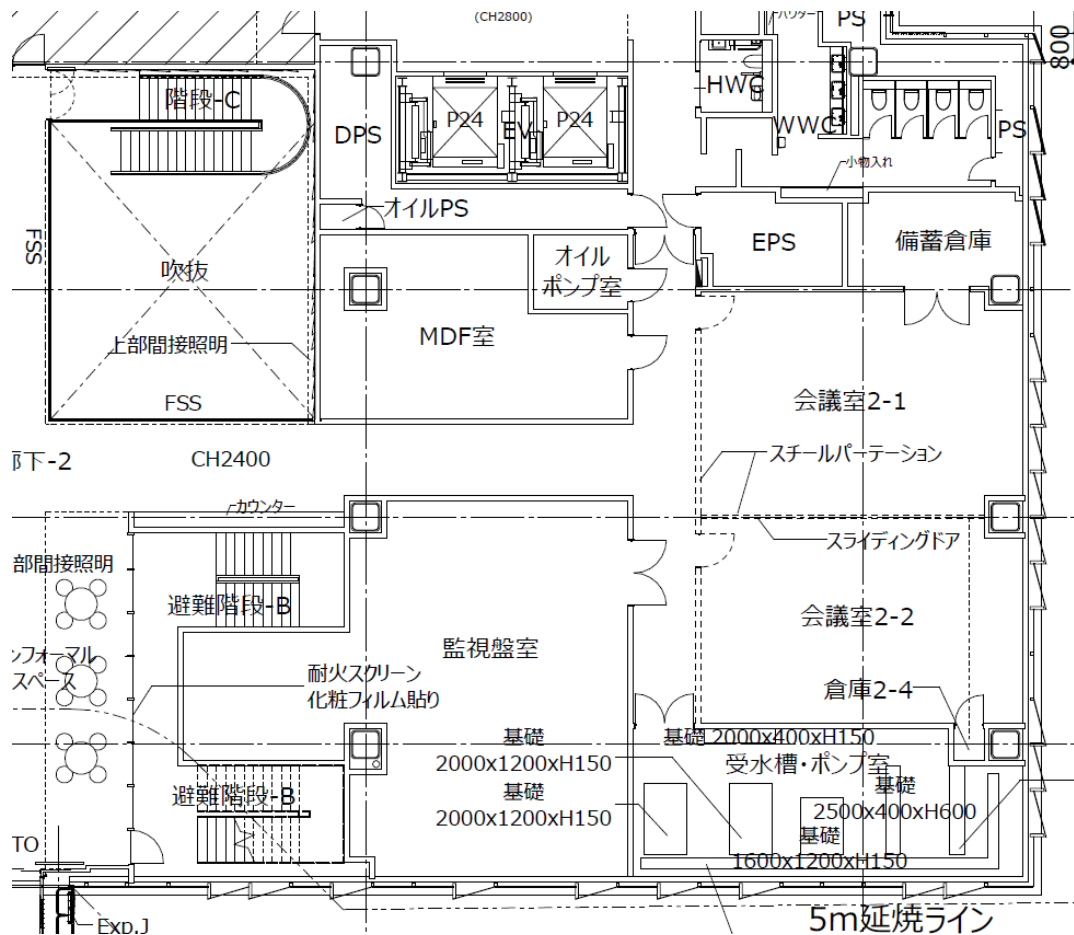
- ・屋上テラス編

- ・1階オルタナティブトイレ編

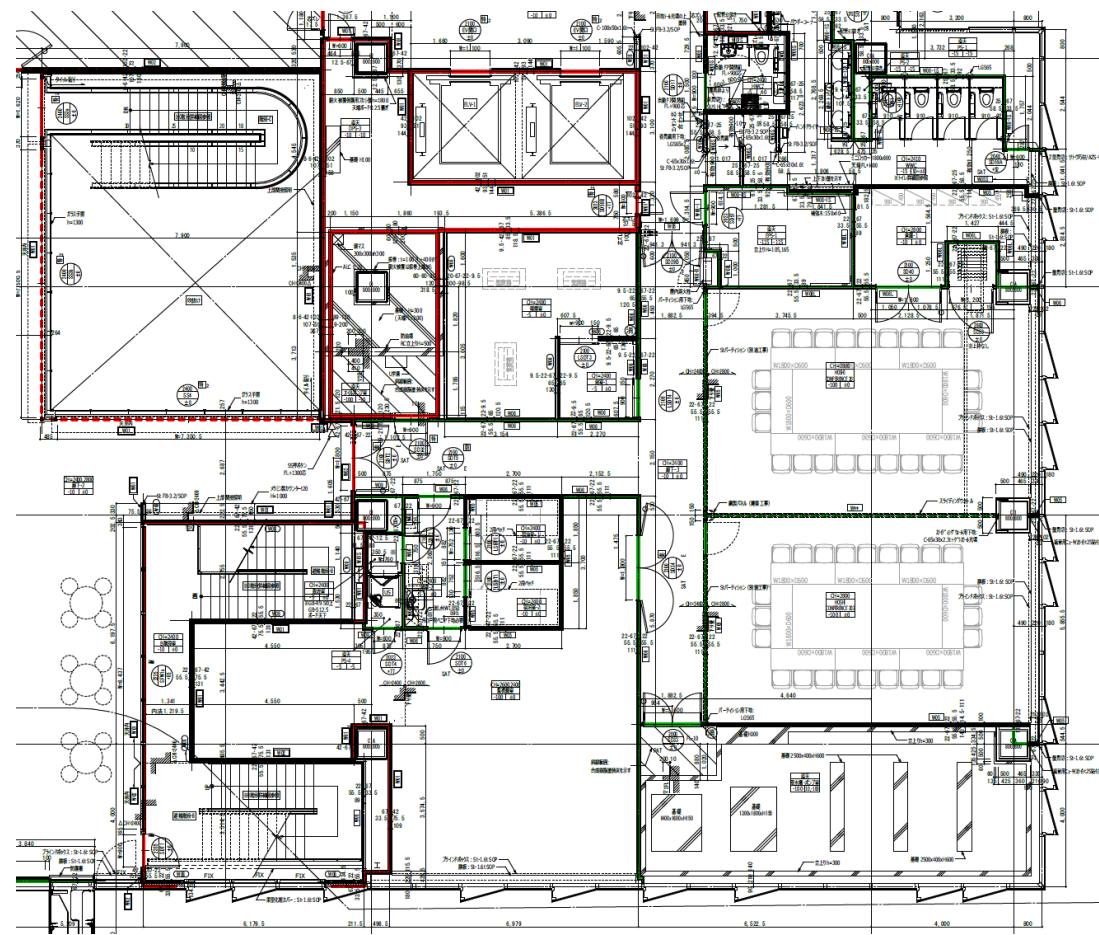
4 製作図とは

1 設計図と施工図との比較

意匠図（平面図）



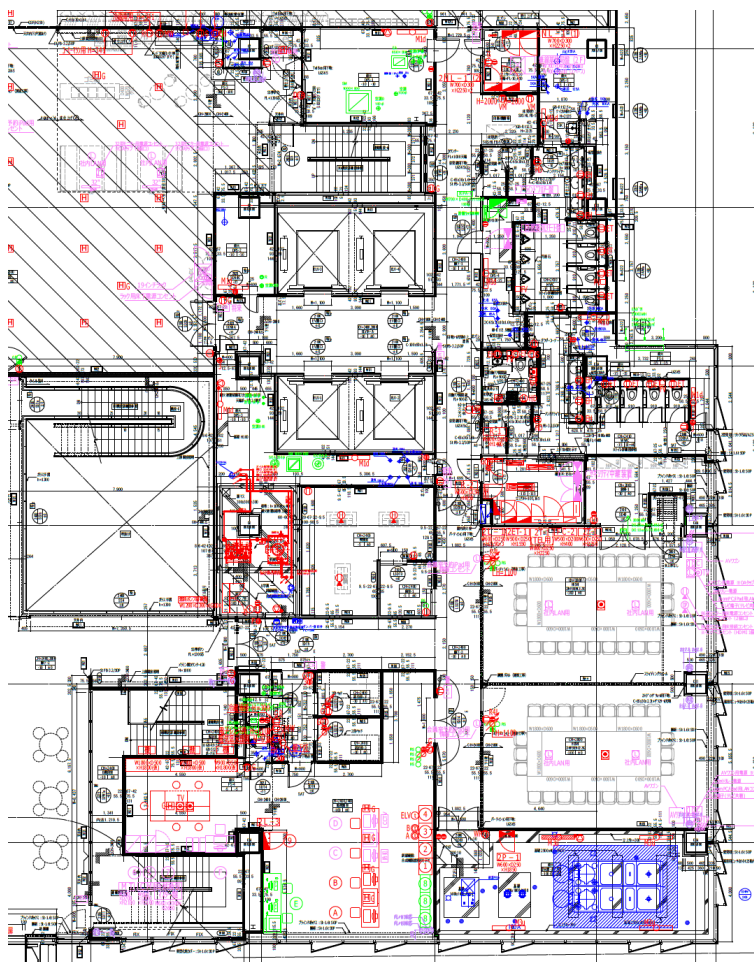
施工図（平面詳細図）



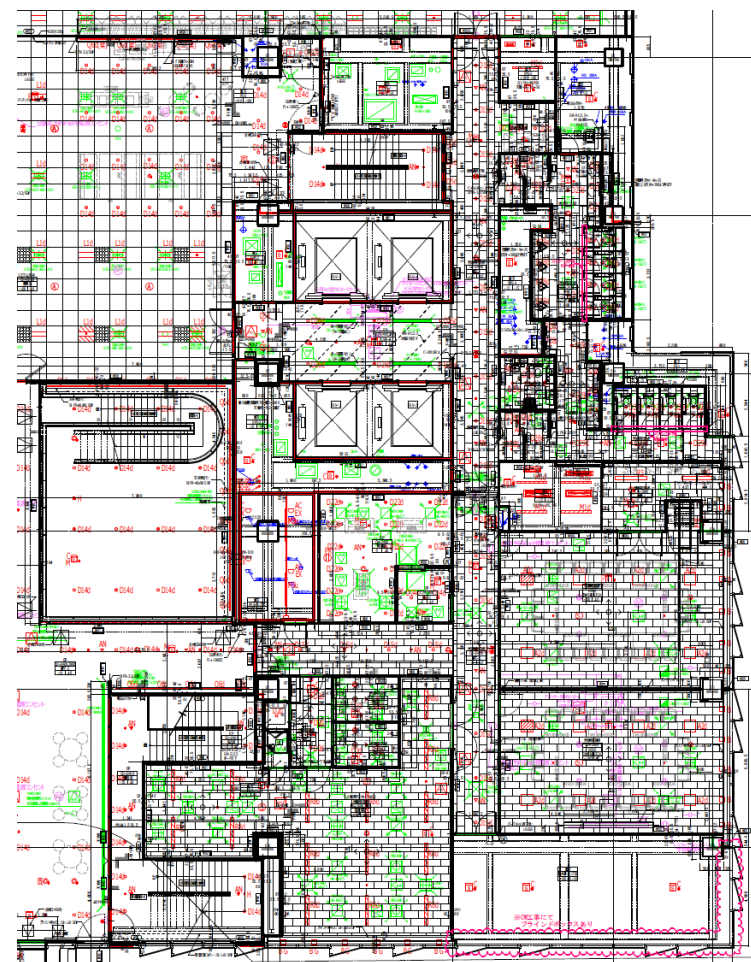
2 主な施工図

総合図 → 意匠・構造・設備図を重ね合わせて、初期エラーを抽出する

建築・黒
電気・赤
空調・緑
衛生・青



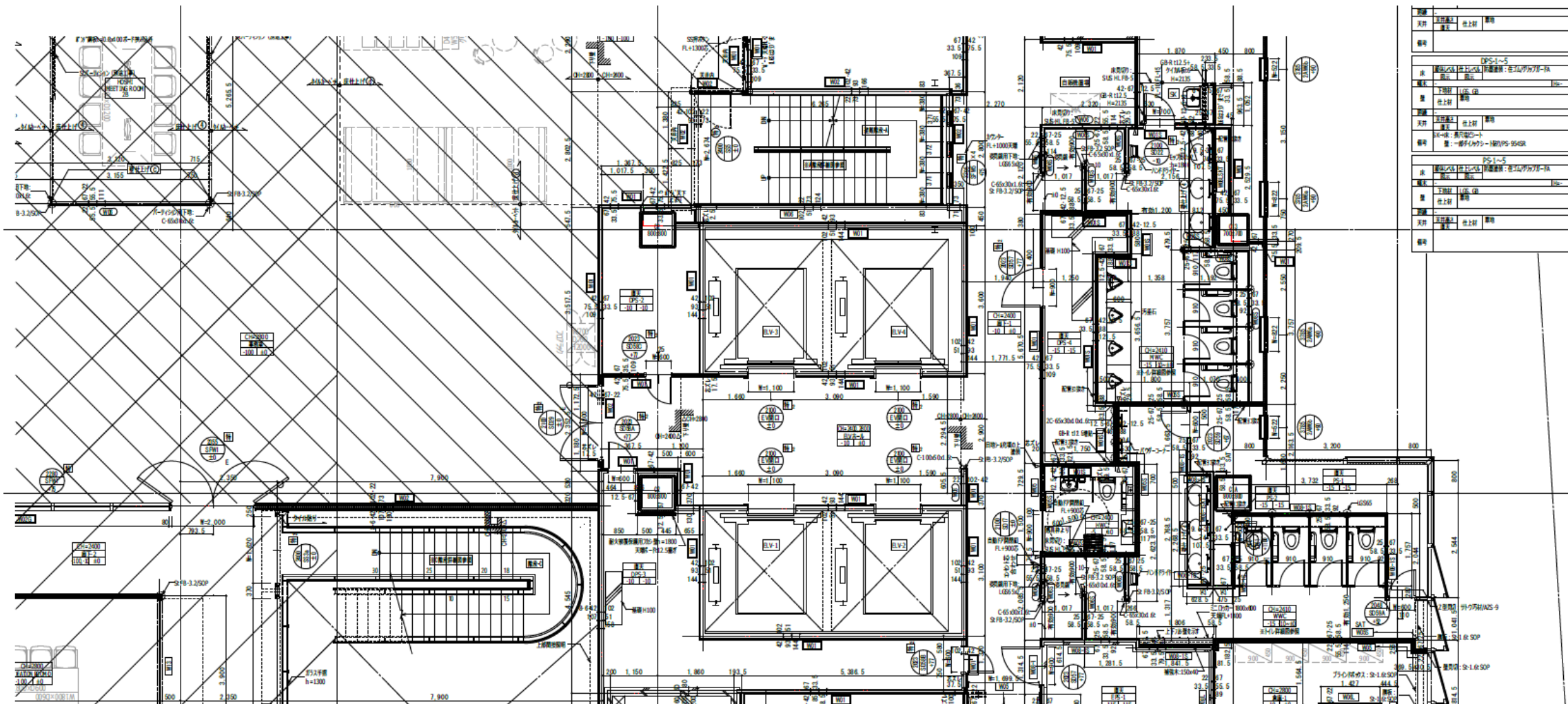
壁・床総合図



天井総合図

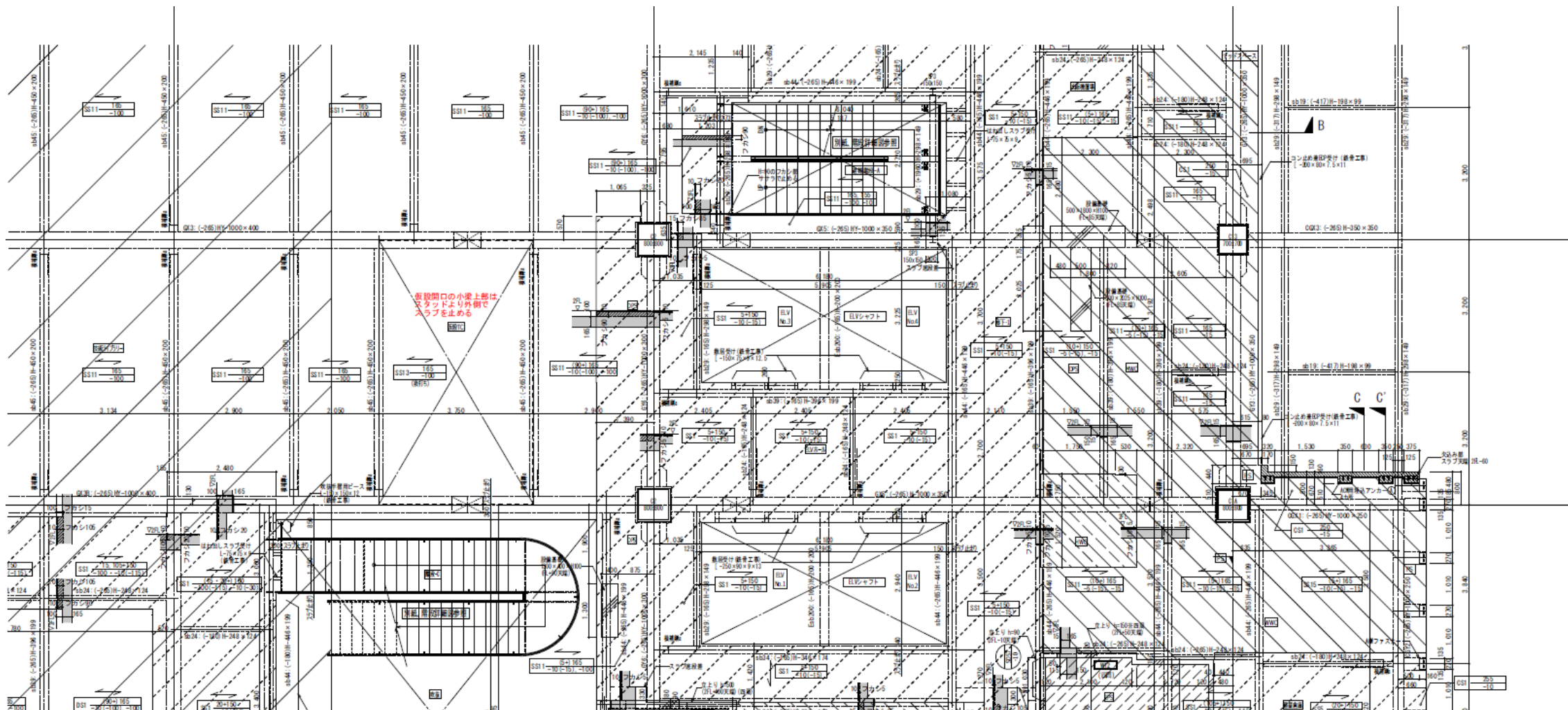
2 主な施工図

— **平面詳細図** → 全ての仕上げ情報を記載した図面 (縮尺1/50)



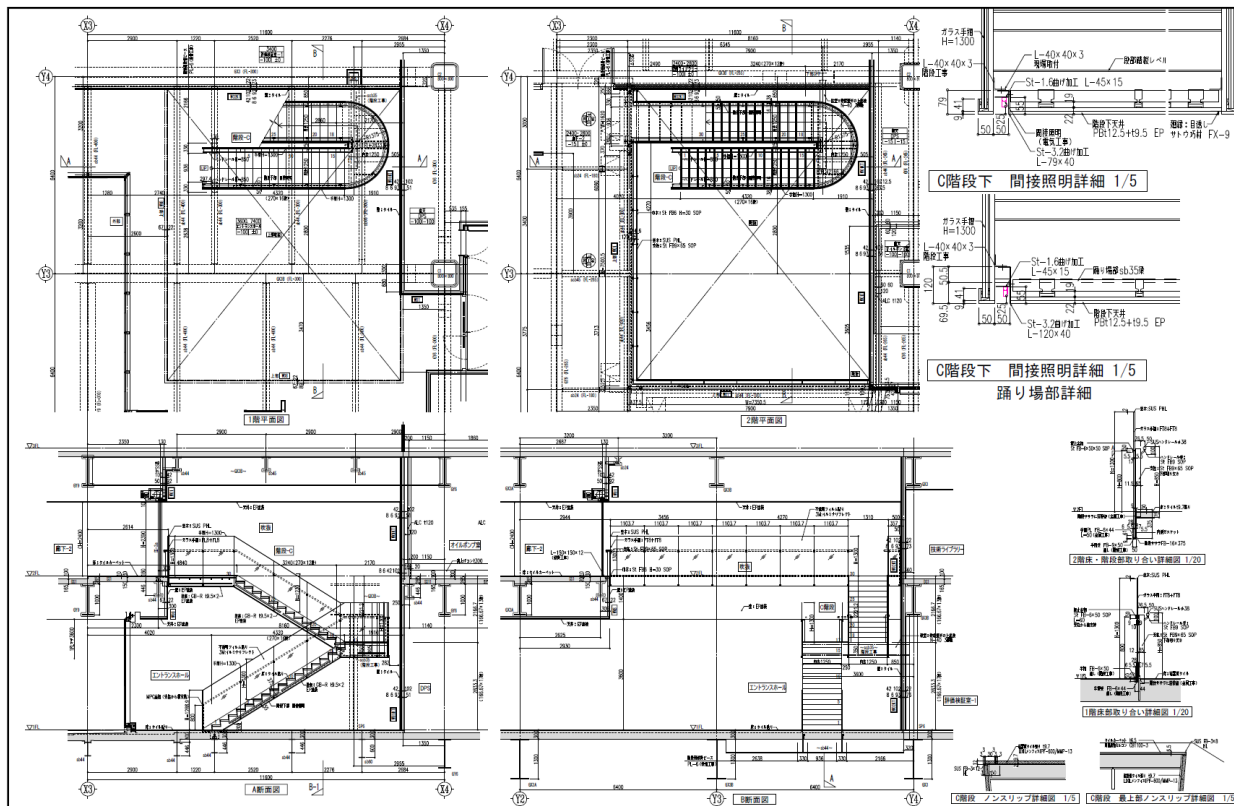
2 主な施工図

— **躯体図** → 柱・梁・スラブなどの躯体情報だけを記載した図面 (縮尺1/50)



2 主な施工図

部分詳細図 → 意匠性の高い階段やタイル仕上げなど (縮尺1/5~30)



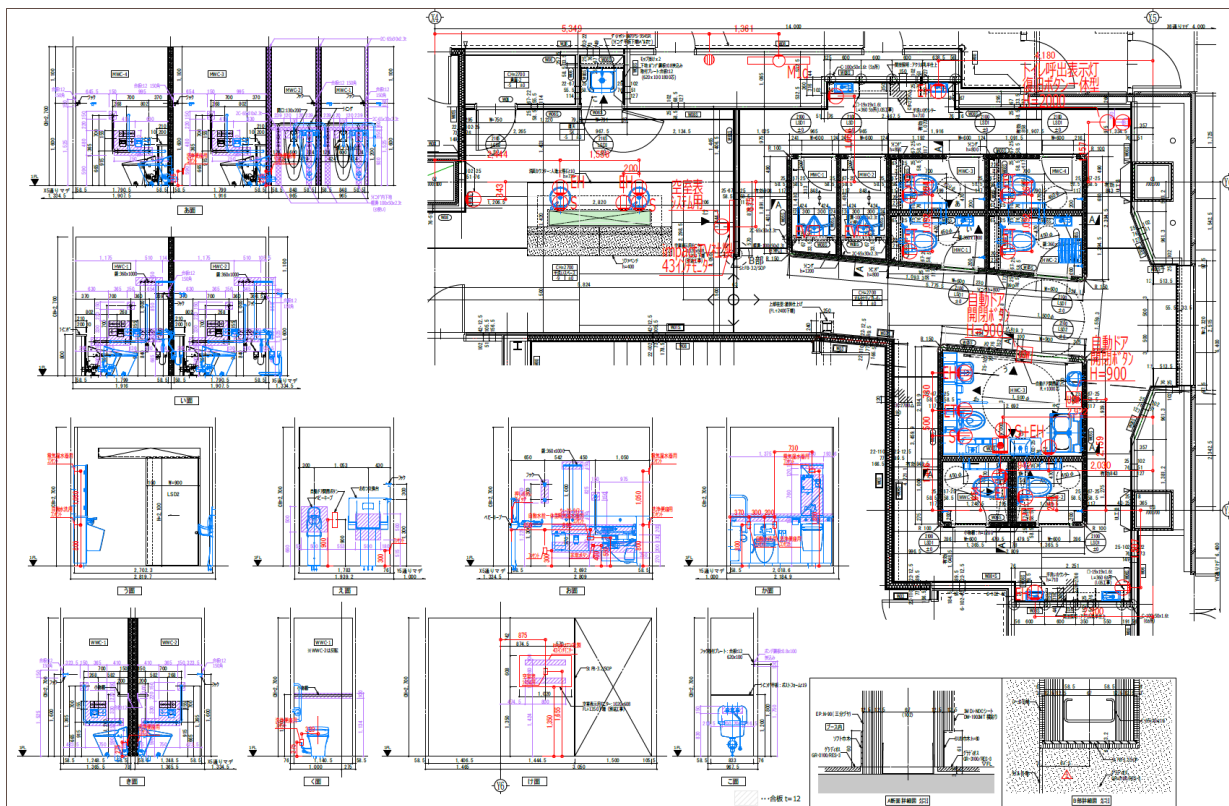
階段詳細図



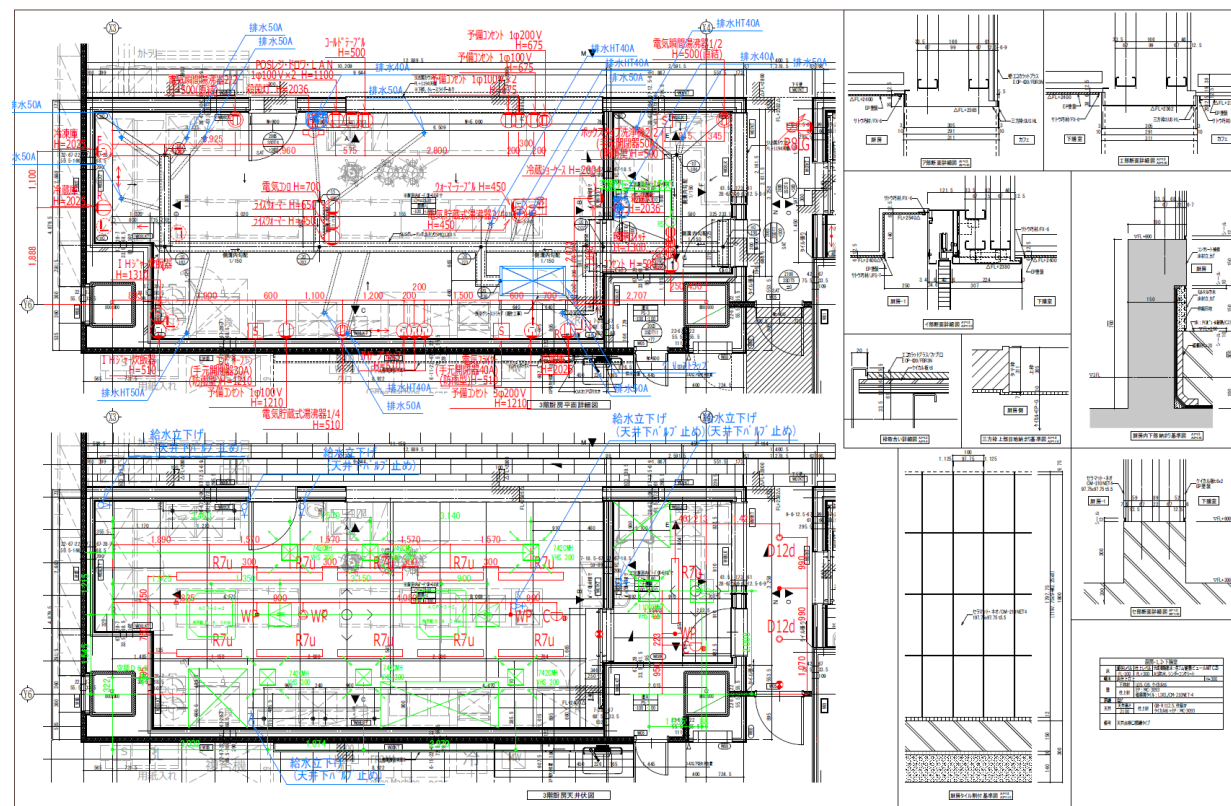
タイル割付図

2 主な施工図

部分詳細図 → 設備機器が多いトイレや厨房など (縮尺1/5~30)



トイレ詳細図

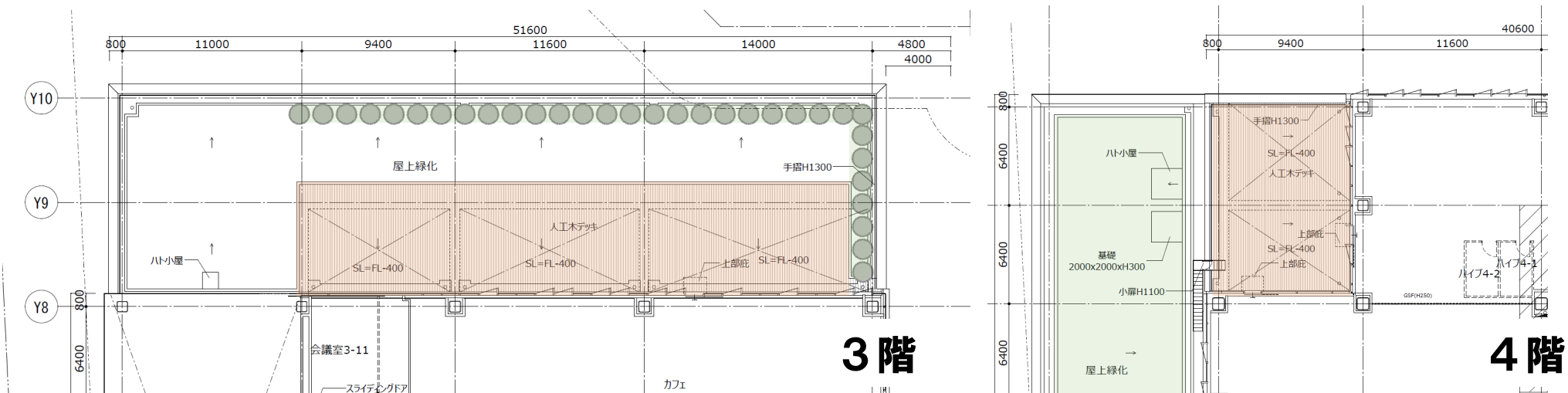


厨房詳細図

③ 実施設計から生産設計へ

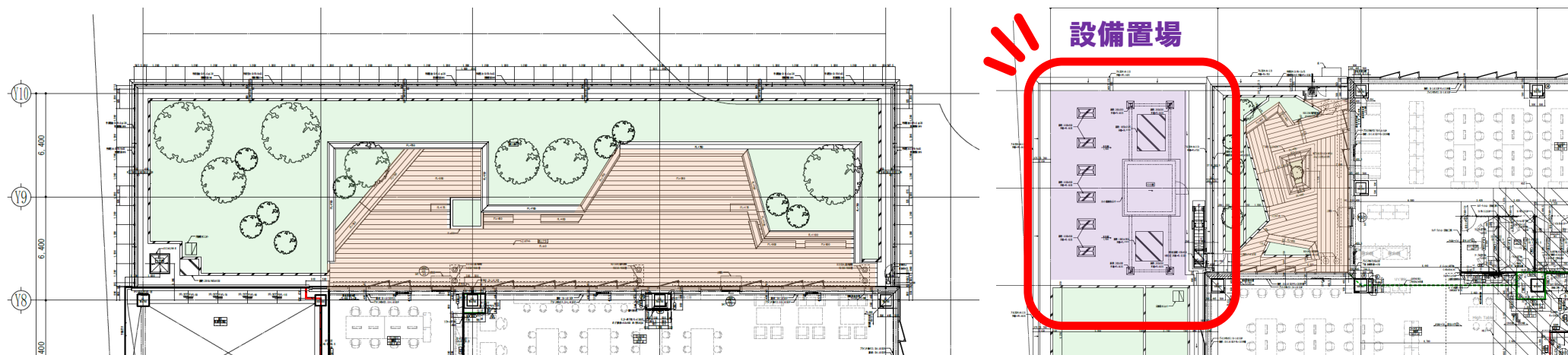
屋上テラス編

【実施設計図】



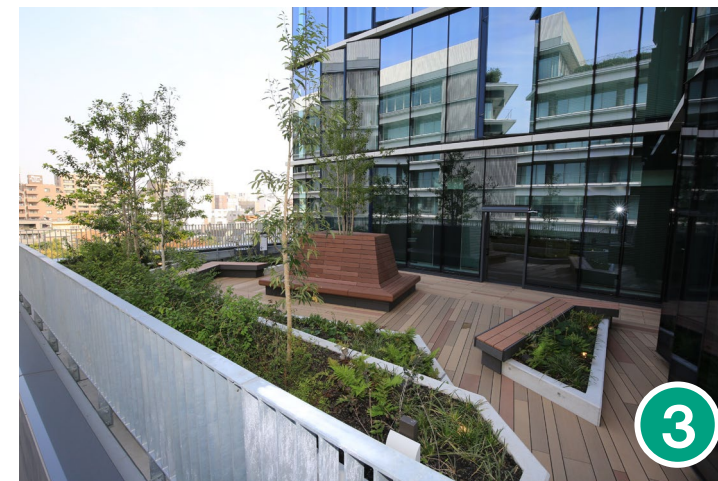
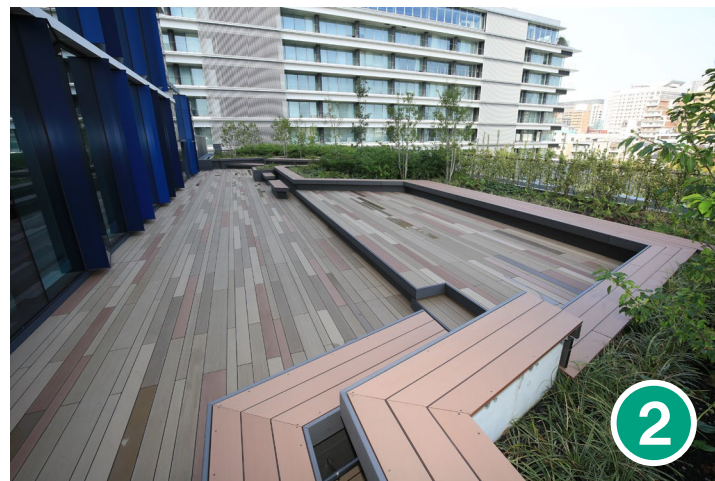
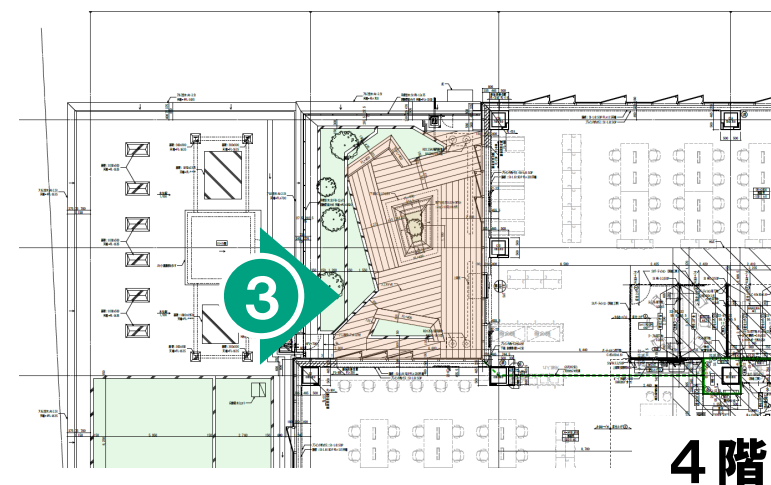
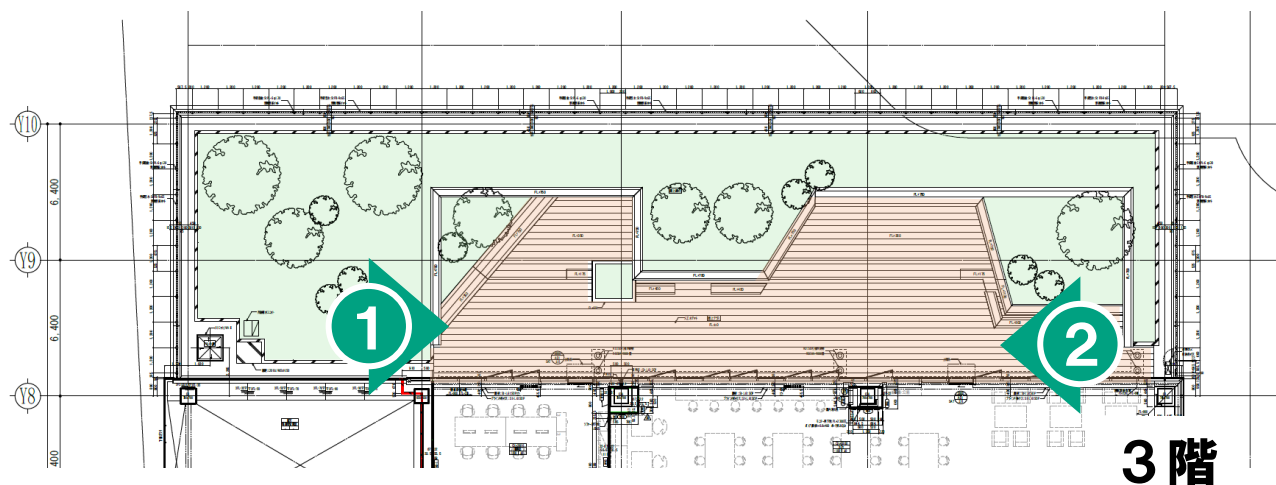
【設計変更の理由】 設備置場としてのスペースが必要になった → 緑化面積が不足

【施工図】

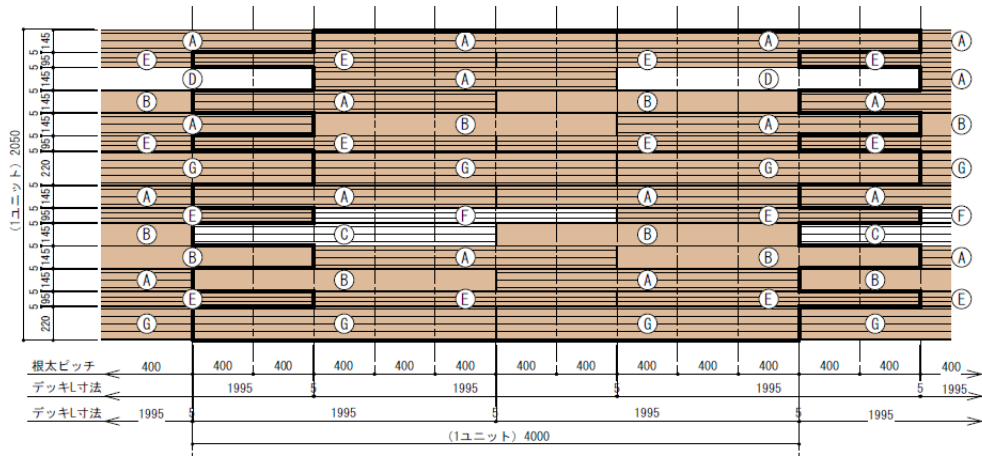


緑化計画は「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づいて行う必要があります!!

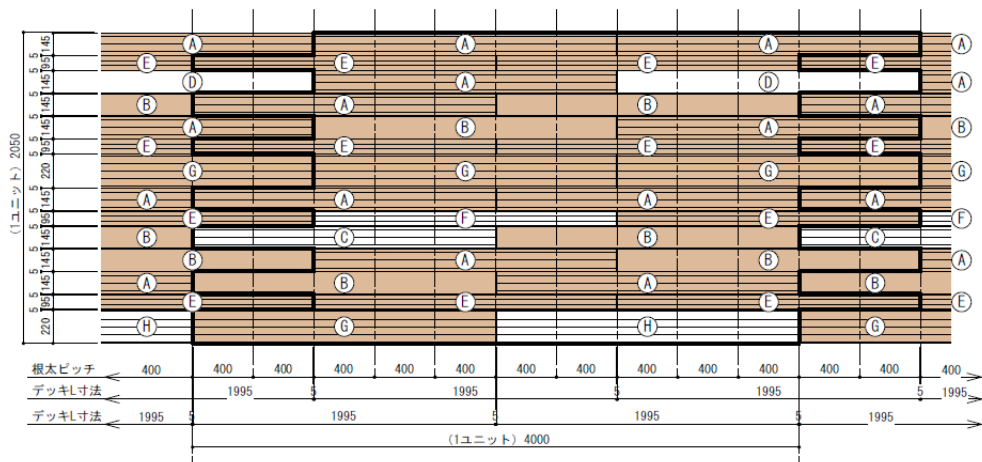
【施工図】



多色デッキの
モジュール検討



デッキ割付パターン1図
S=1/30



デッキ割付パターン2図
S=1/30

正確なユニットラインを示す

※パターン1と2の違いはW220にブラウンが1枚入るだけ

(設計方針)

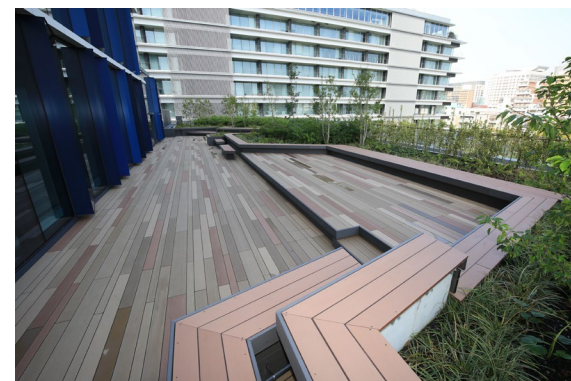
- 基本色：サンディ
- 基本デザイン：ランダムリブ
- W145の場合のみ8枚に3枚程度フラットデッキ（リブなし）を入れる
- アクセントカラー：ブラウン
- すべてのデッキ幅で8枚に1枚程度ブラウンを入れる

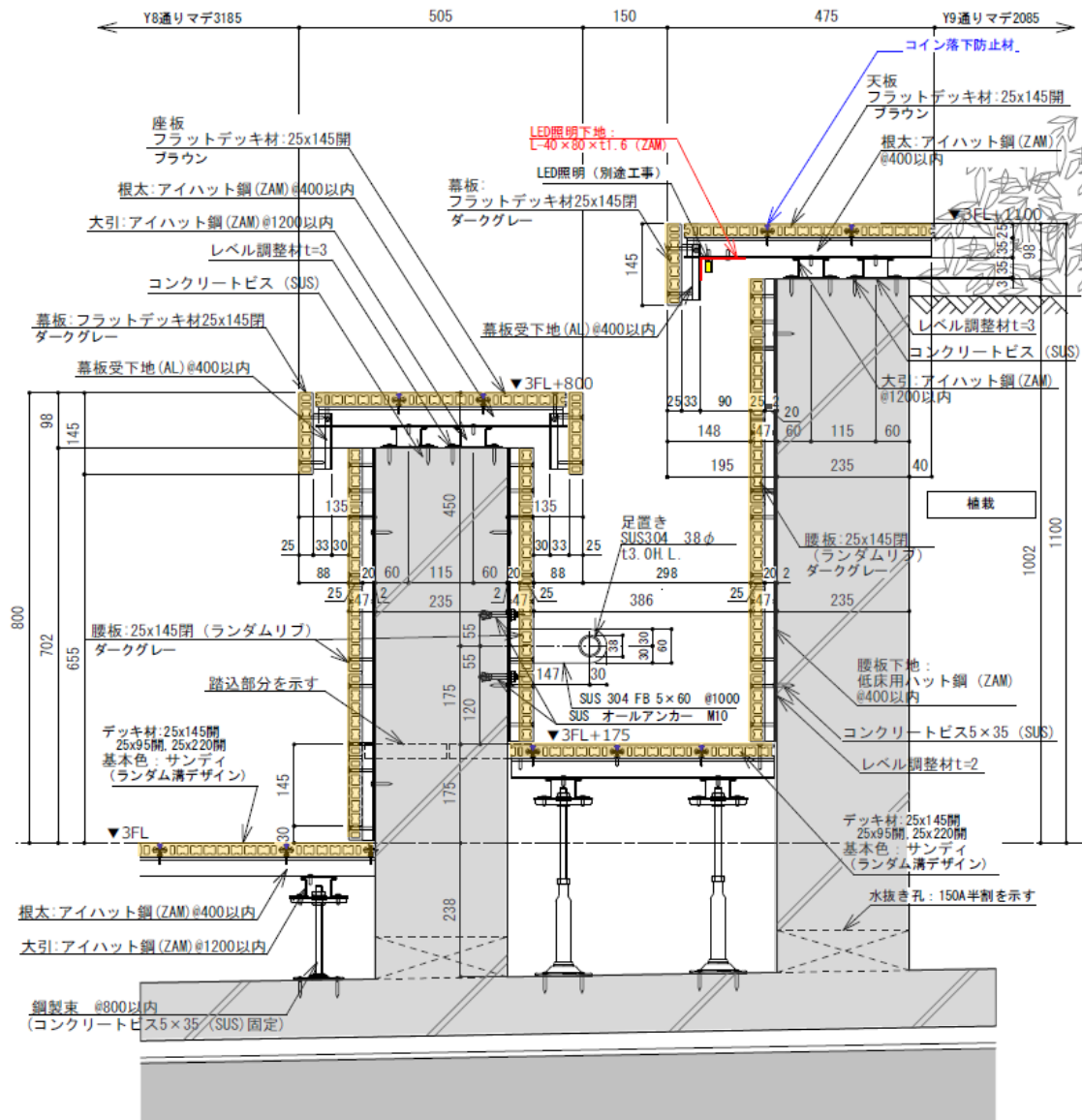
	サンディ ランダムリブ	サンディ フラットデッキ (リブなし)	ブラウン ランダムリブ	ブラウン フラットデッキ (リブなし)
W145	A 9枚	B 5枚	C 1枚	D 1枚
W95	E 7枚		F 1枚	
W220	G 4枚 (3枚)		H 0枚 (1枚)	

※枚数はパターン1の1ユニット (4m×2.5m) 当たりの数量を示す
※ () の数量はパターン2の数量を示す

■このパターンを左右前後交互に使用する

パターン2	パターン1	パターン2	パターン1
パターン1	パターン2	パターン1	パターン2
パターン2	パターン1	パターン2	パターン1
パターン1	パターン2	パターン1	パターン2





ベニヤを組んで
使い勝手を検証

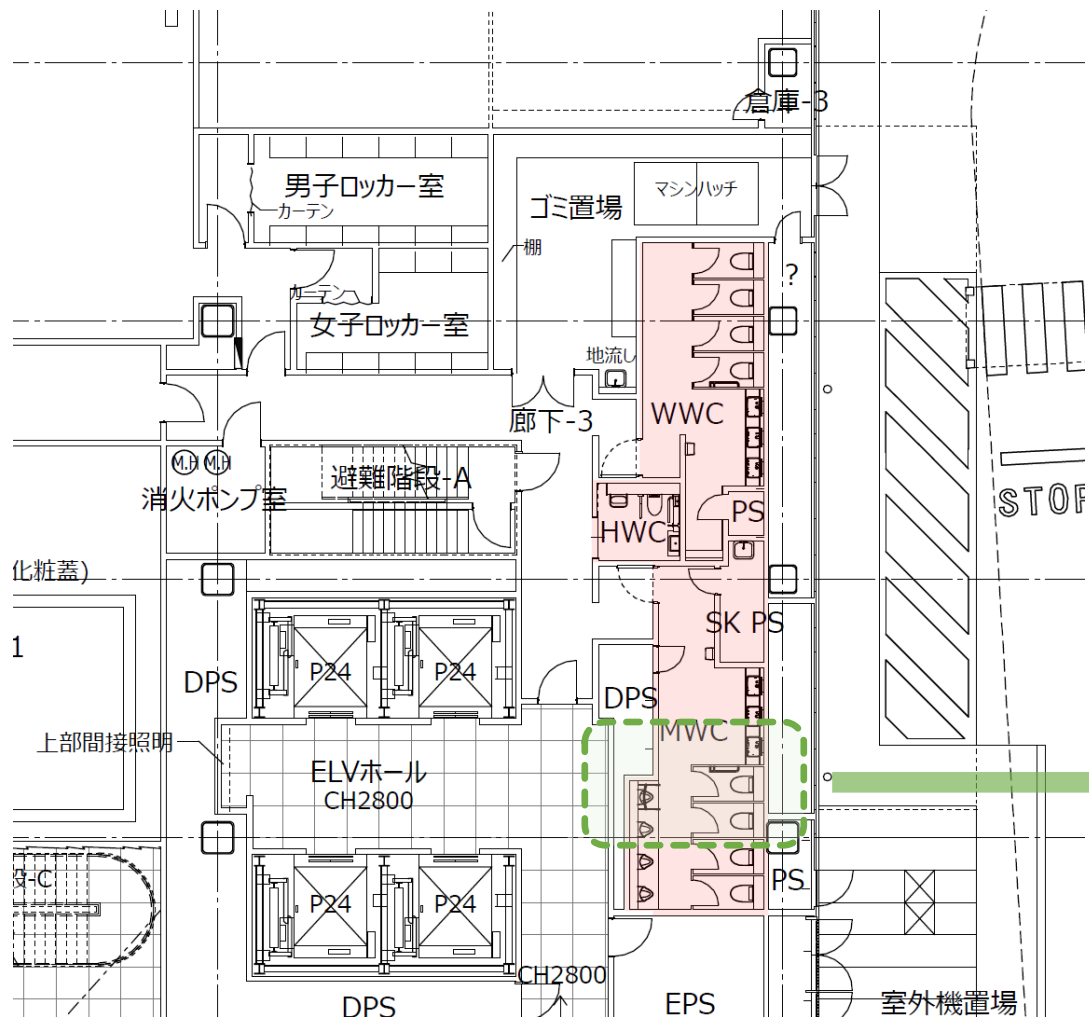
ビス頭の
色合わせまで・・・



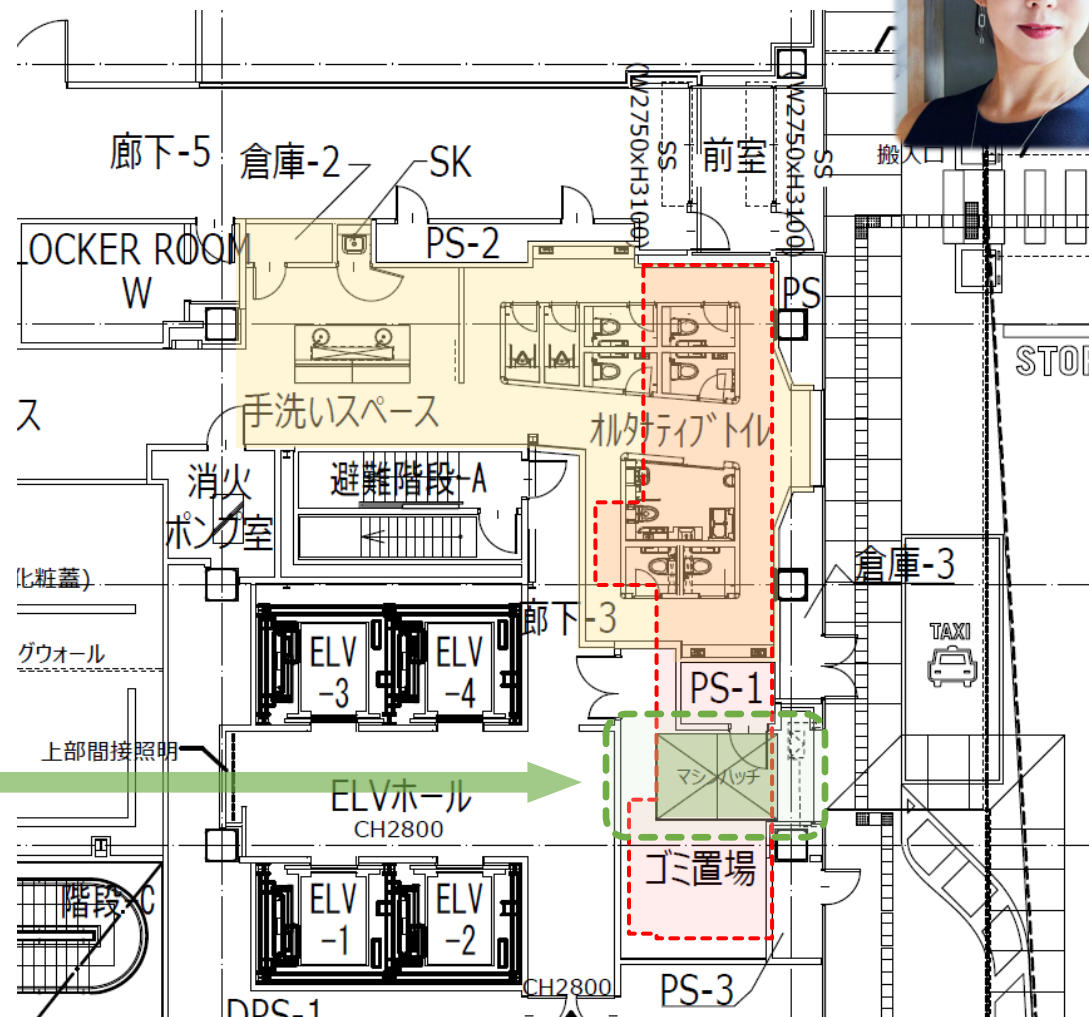
③ 実施設計から生産設計へ

1 階オルタナティブトイレ編

実施設計 (三菱地所設計)

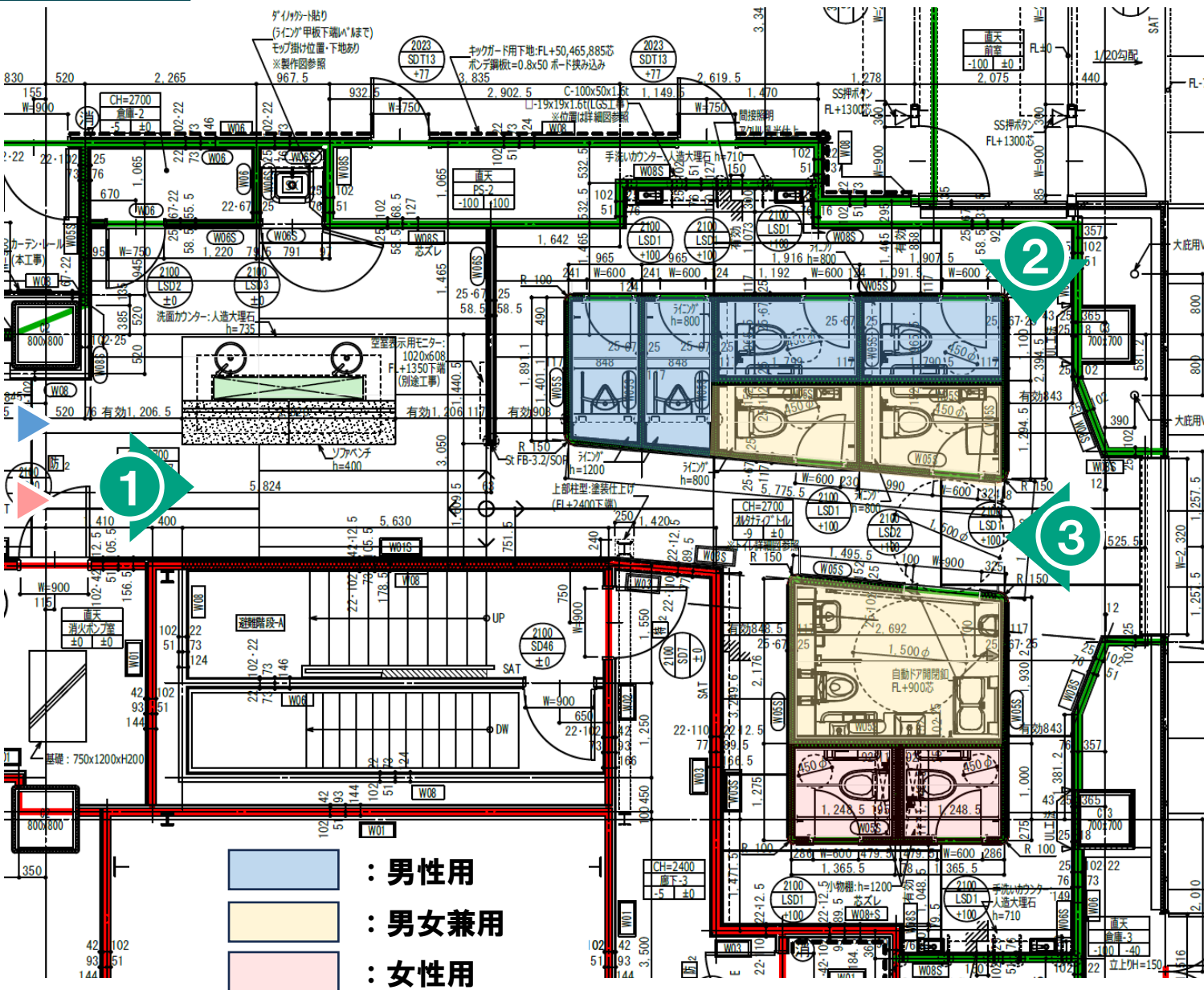


変更設計 (永山祐子建築設計)



ホントの理由

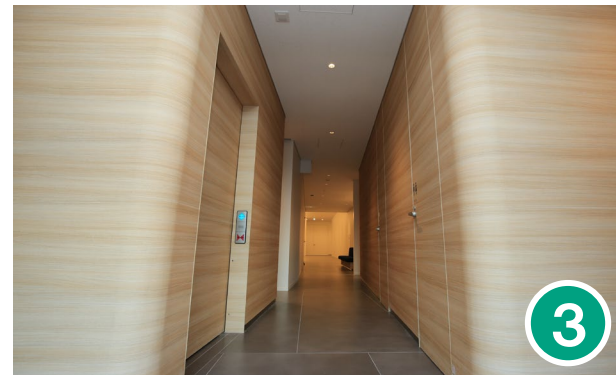
マシンハッチが必要になったのでトイレを変更せざるを得なかった



めっちゃきれいに
仕上がりましたね！



ありがとう！！





ここで
速報です



中
継

現場巡回中に発覚!!
吊り鉄骨が壁からこんにちは

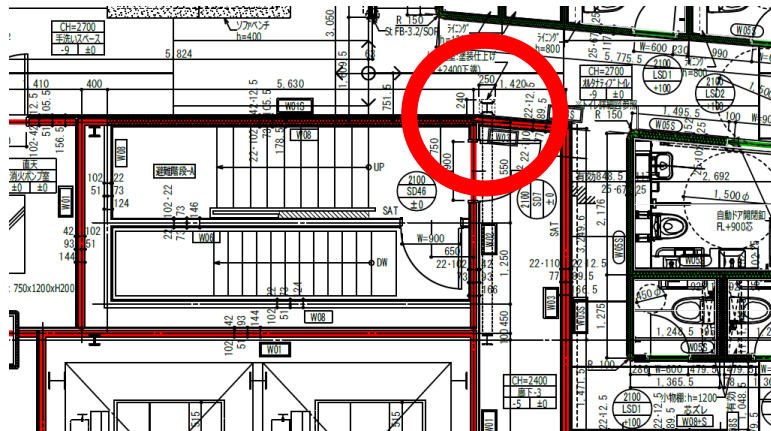


速報

現場おさまっていない

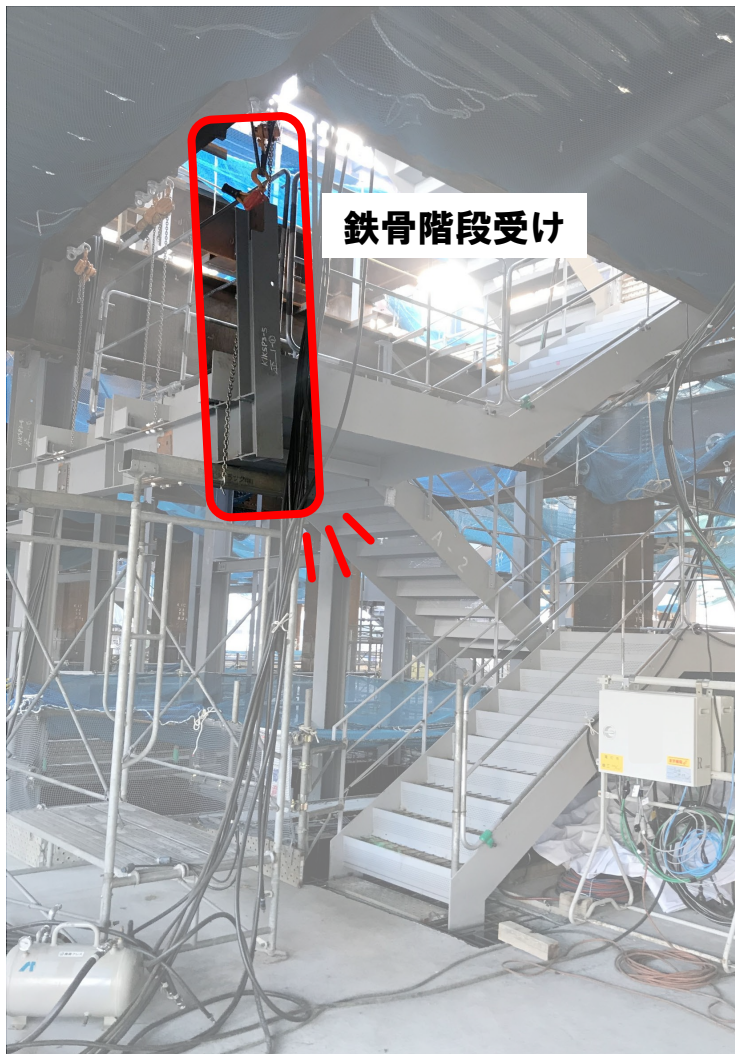
きれいに
ましたね!

とう!!



階段受けの**吊り材**を見落としていたようです

現場はどの様な対応をとるのでしょうか…



鉄骨階段受け

中継

現場巡回中に発覚!!
吊り鉄骨が壁からこんには



速報

現場おさまっていない

階段受けの吊り材を見落としていた



ピクトサインでカムフラージュする事に...

反省

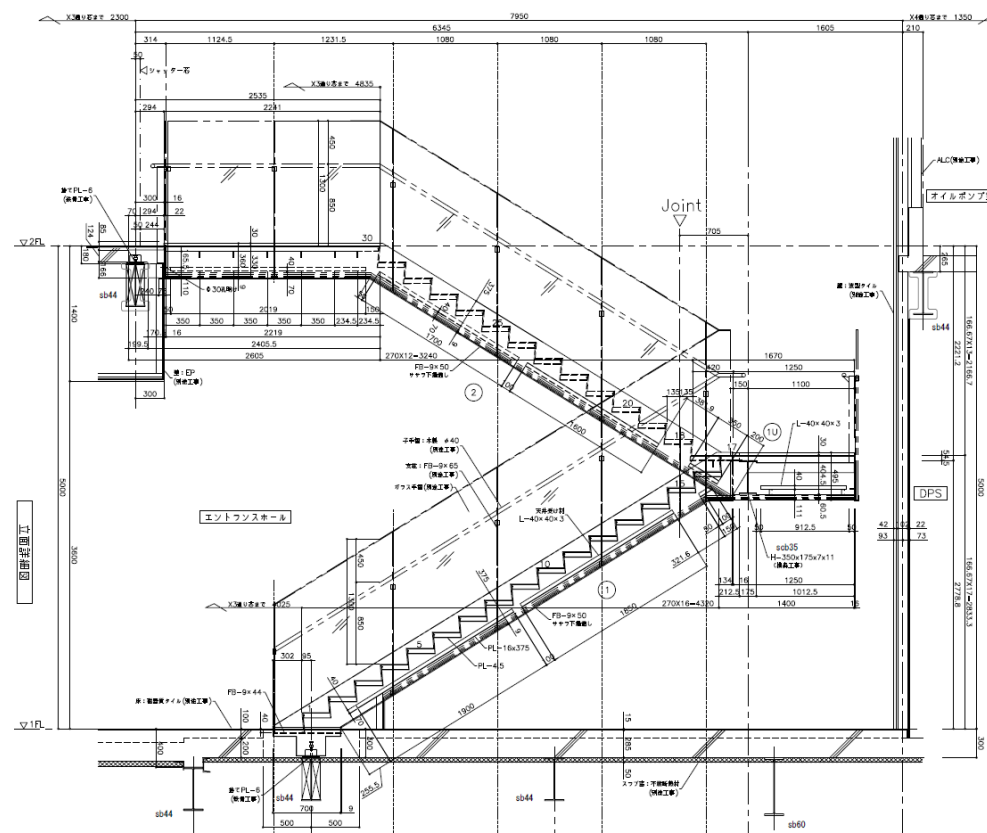
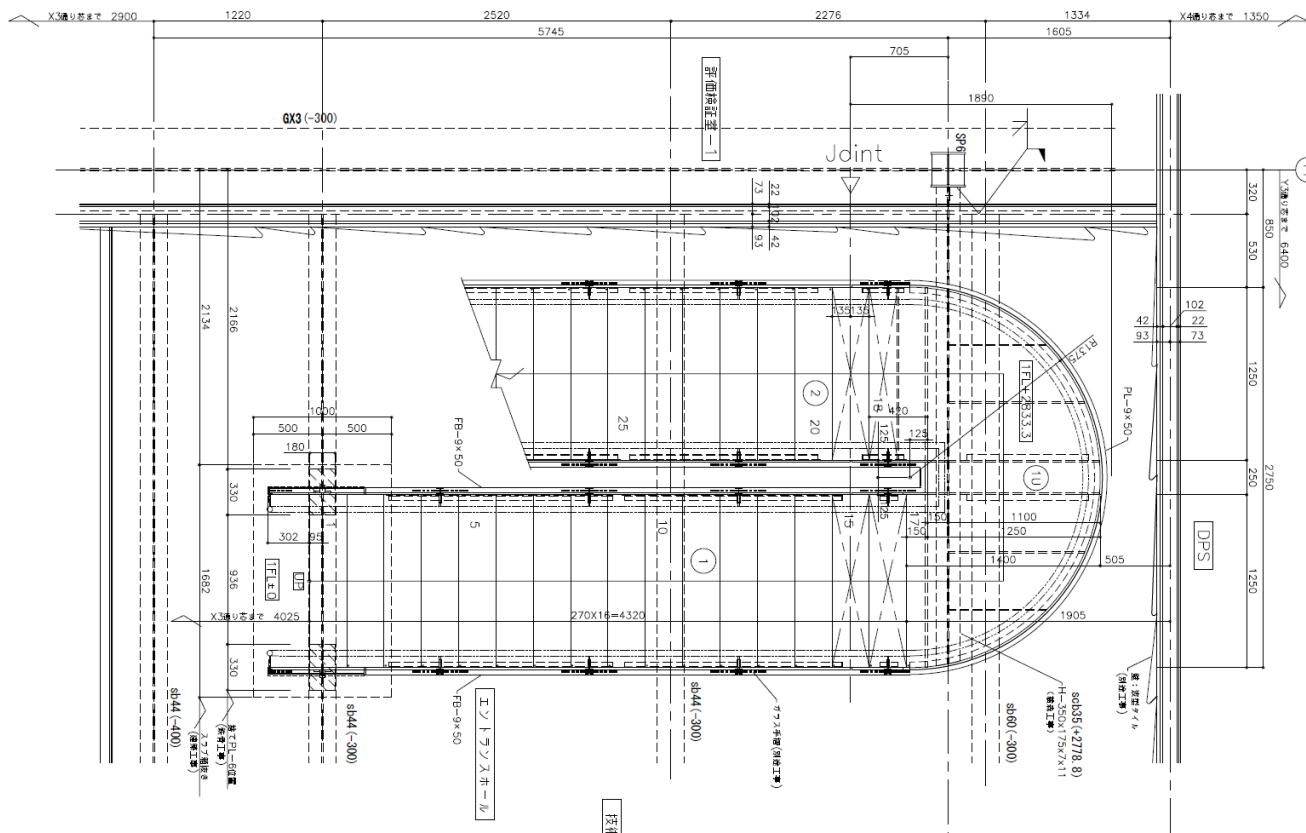


4 製作図とは



工場で建材を**加工・組み立て**を行い、製品化するための図面

(現場での加工は一切なし！)



4 製作図とは

手すり編（概論）

手すりに求められるもの

① 意匠性 (design)

圧迫感を与えることなく、**空間と調和**させることが大切

② 機能性 (function)

歩行や昇降などの動作を円滑にして、**墜落・転倒を防止**する

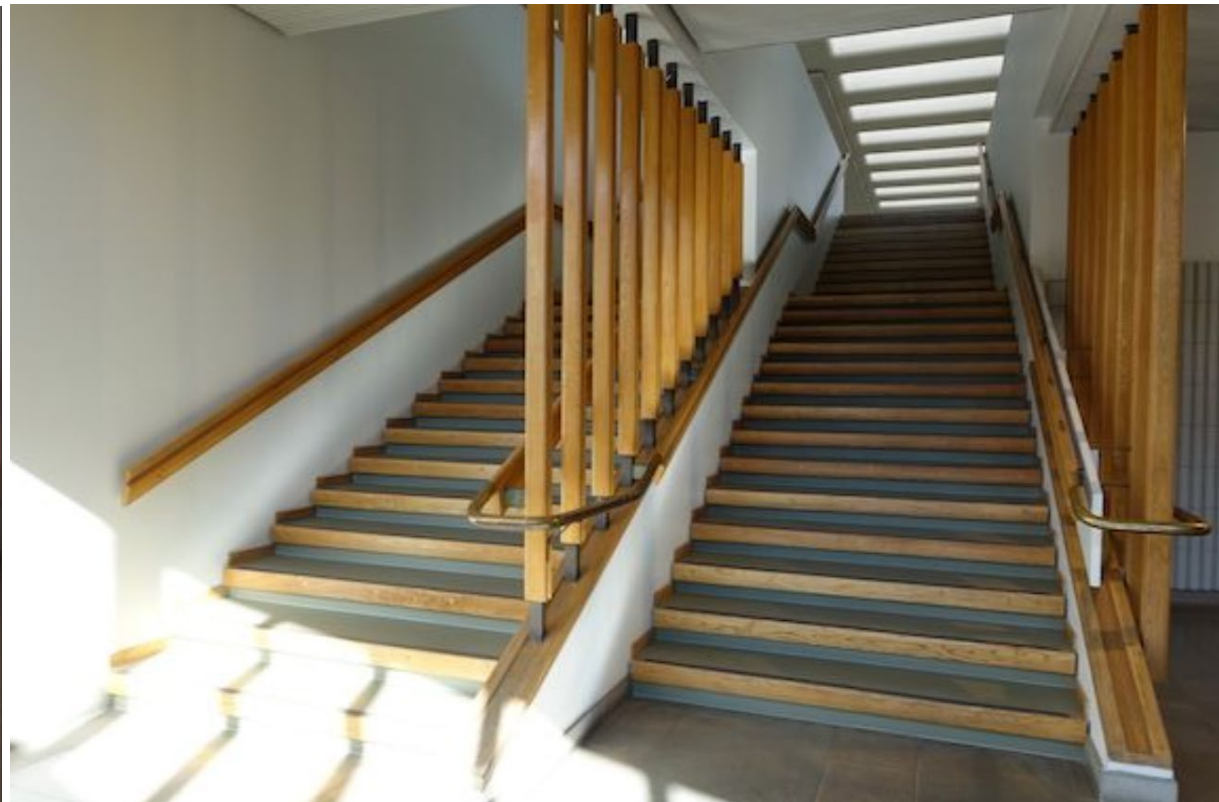
③ 安全性 (safe)

衝突時などにおいても**破損、脱落しない強度**を有する

① 意匠性 (design)



サヴォア邸
ル・コルビュジエ

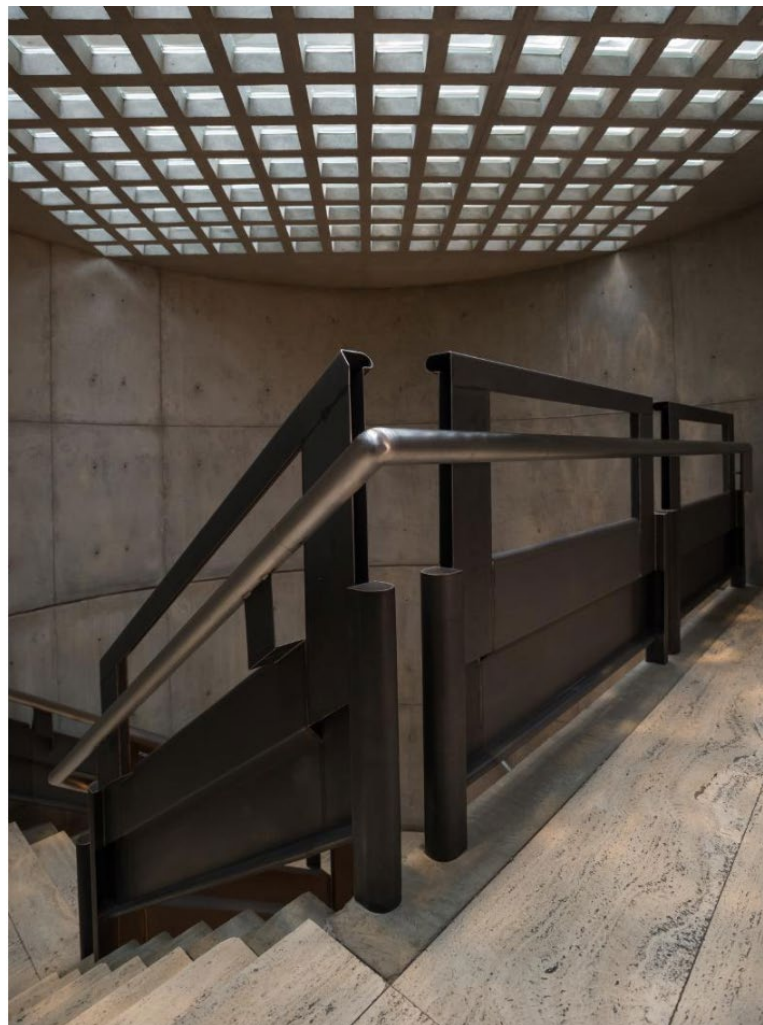


現・アールト大学オタニエミキャンパス
アルヴァ・アールト

① 意匠性 (design)



国立西洋美術館
ル・コルビュジエ

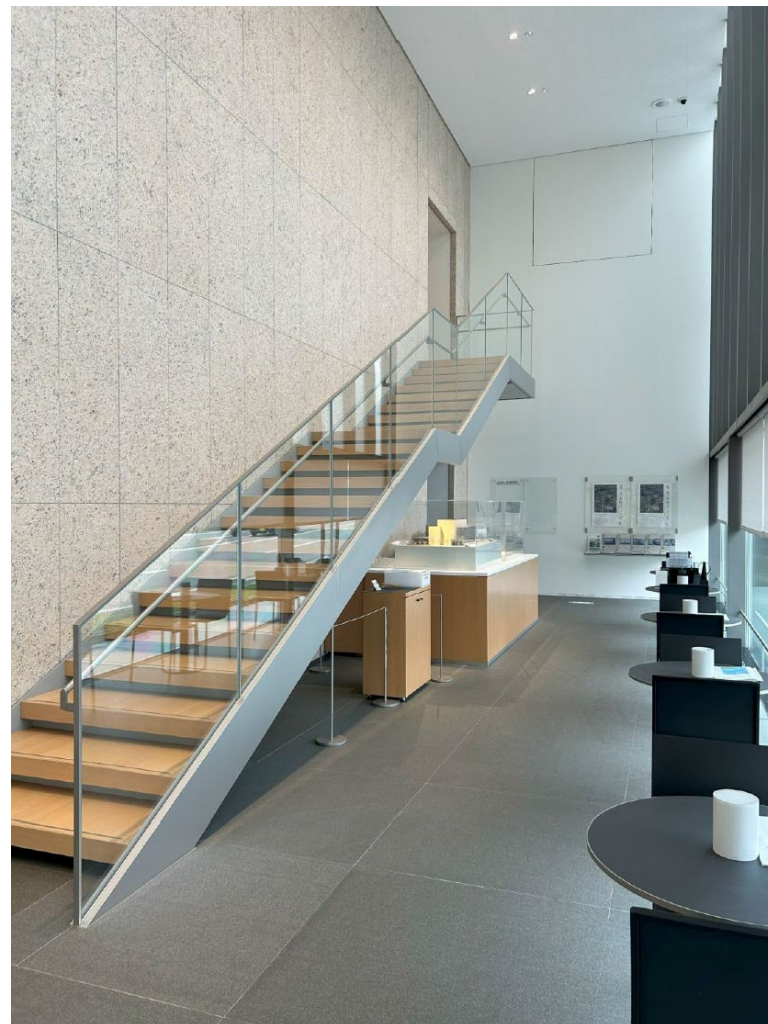


Yale Center for British Art
ルイス・カーン

① 意匠性 (design)



早大セミナーハウス
吉阪隆正

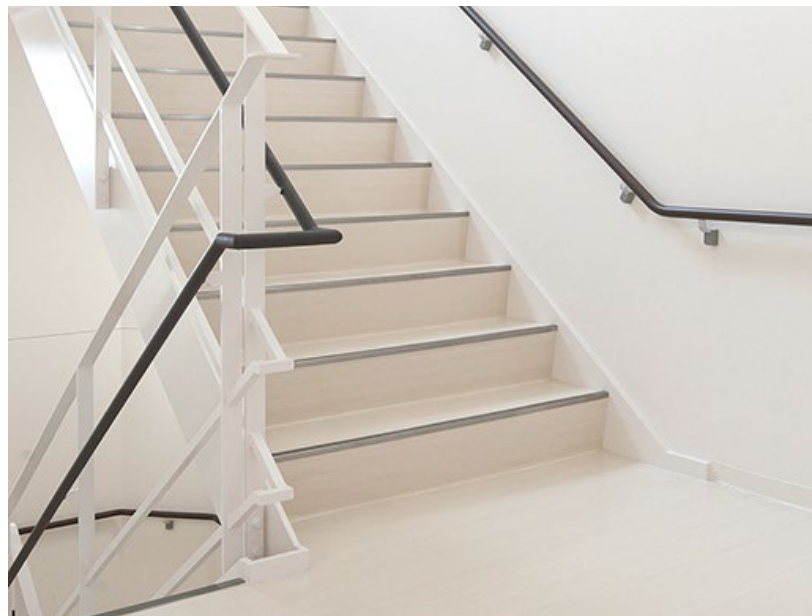


谷口吉郎・吉生記念
金沢建築館
谷口吉生

②機能性 (function)



墜落防止

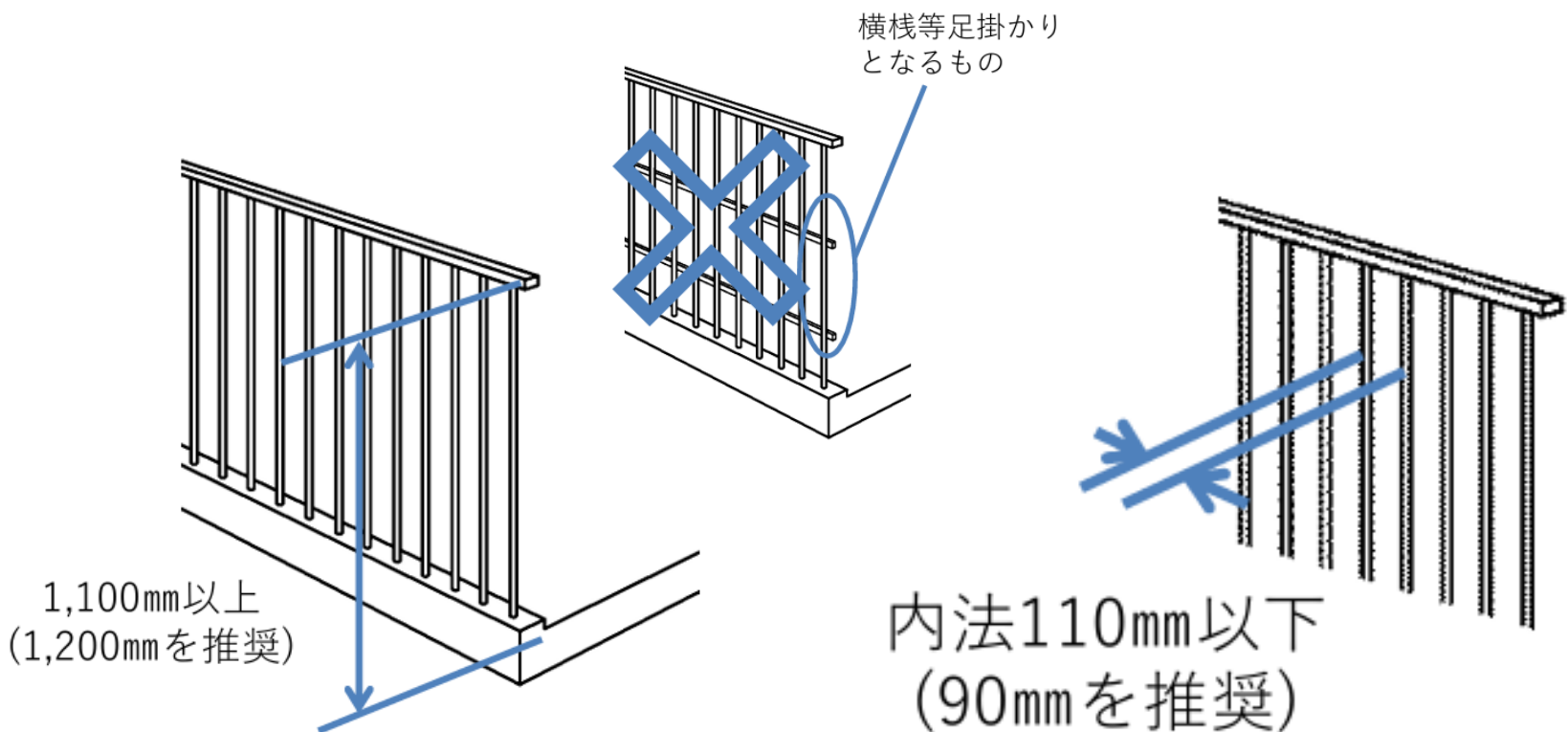


歩行・昇降補助



動作補助

③安全性 (safe)



水平荷重		日本建築学会JASS13 金属工事(1998)
N/m	kgf/m	
495	50	グレード2 (グレード1=個人住宅 等とグレード3の間) 個人住宅
735	75	
980	100	グレード3 (集合住宅、事務所ビ ル等標準的建築物)
1225	125	
1450	150	グレード4 (グレード3と5の中 間) 専用部
1960	200	共用部
2950	300	
2950 超	300超	グレード5 (公共性が高く、かつ 大地震でも機能を損なわない)

強度

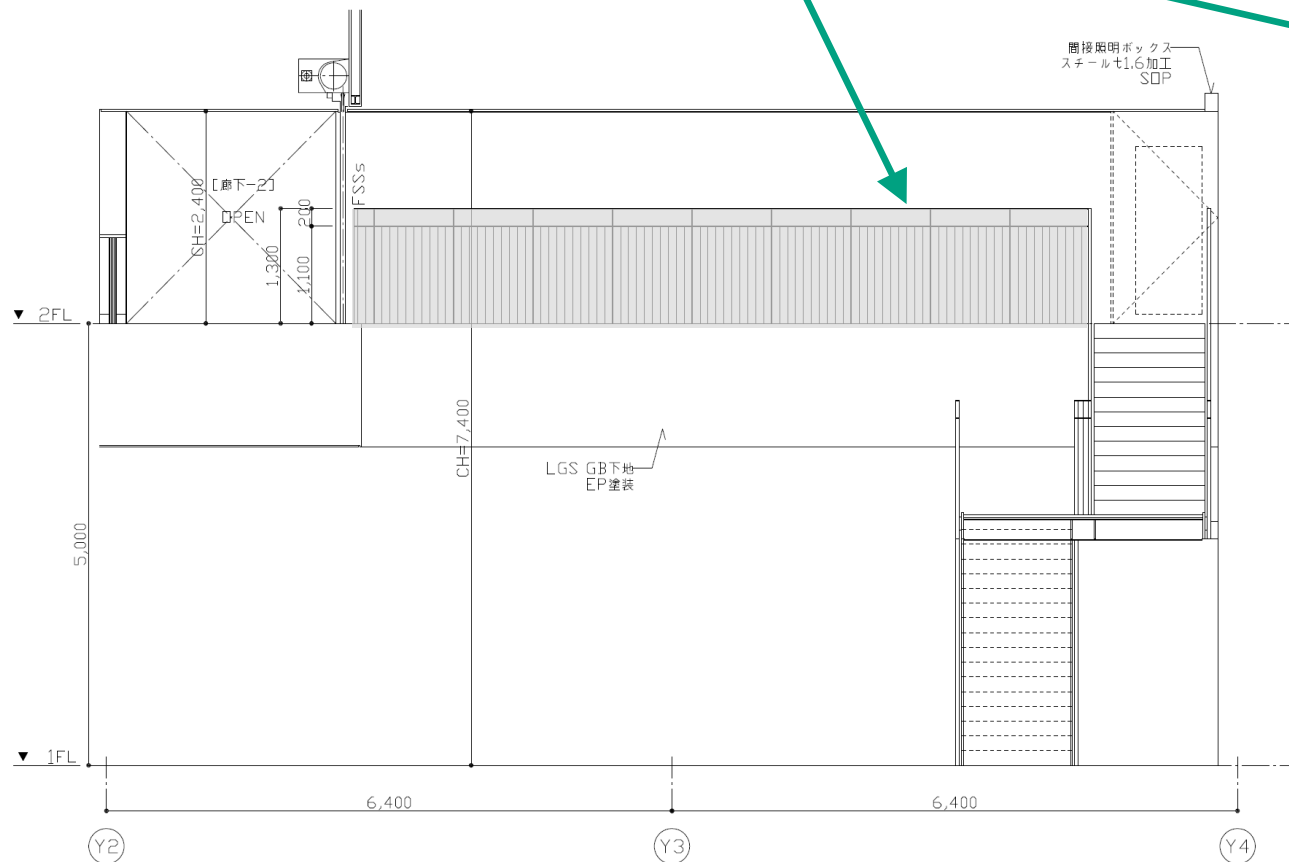
4 製作図とは

手すり編（生産設計）

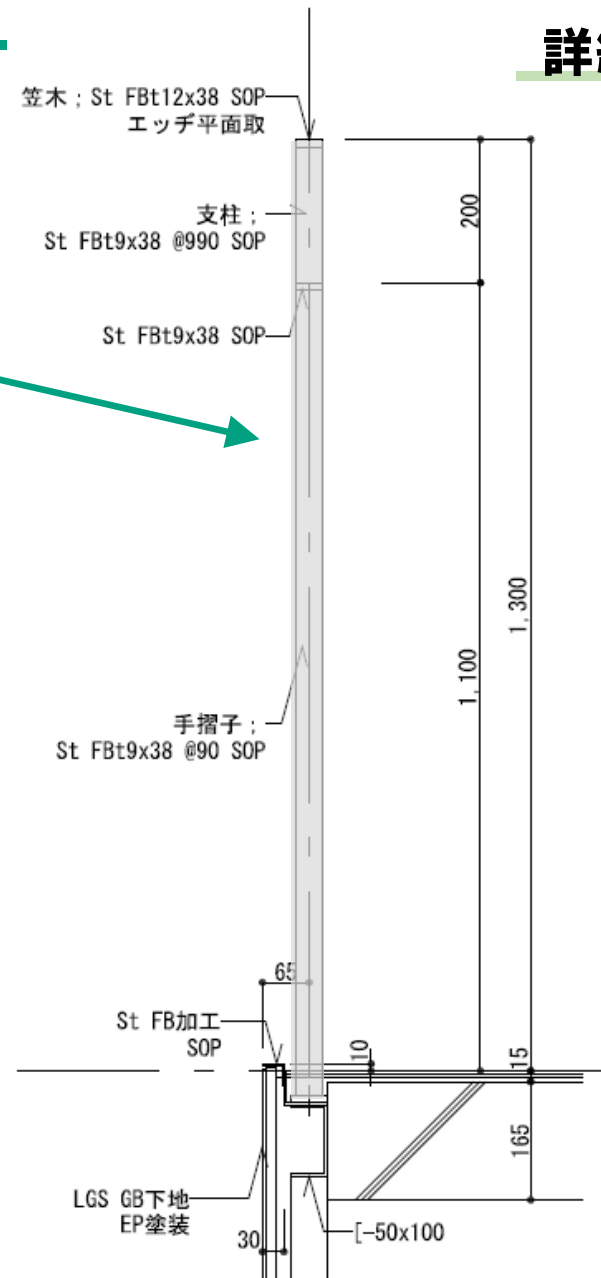
階段・吹抜け手すり



実施設計では**スチール製 縦格子手すり**

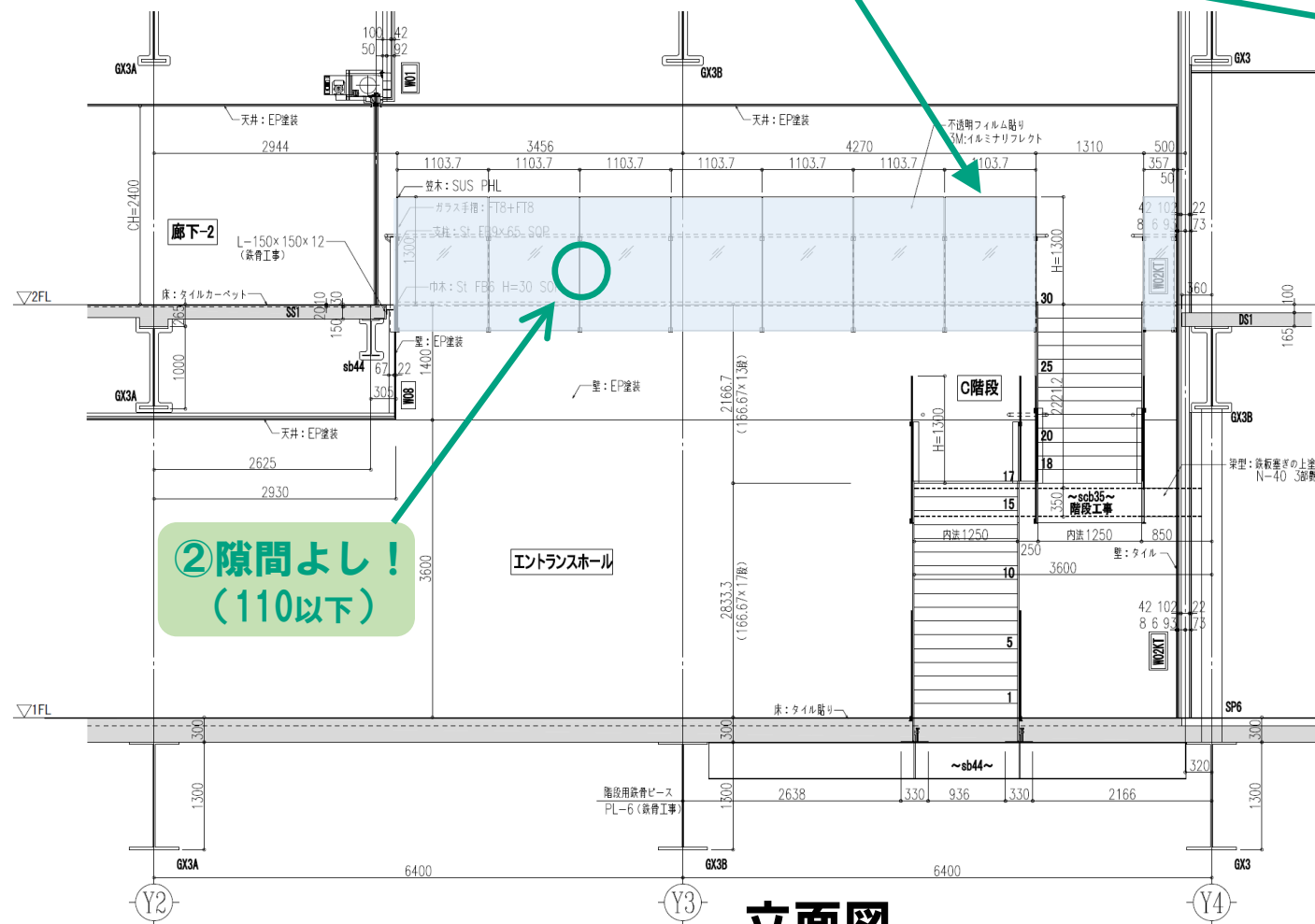


立面図



生産設計ではガラス製手すりに変更

安全性を再確認!



②隙間よし!
(110以下)

①高さよし!
(1100以上)

③強度よし!
(300kgf/m以上)

③ガラス仕様よし!
(強化合わせガラス)

ガラス手摺: FT8+FT8
(共用部)

水平荷重300kgf/m

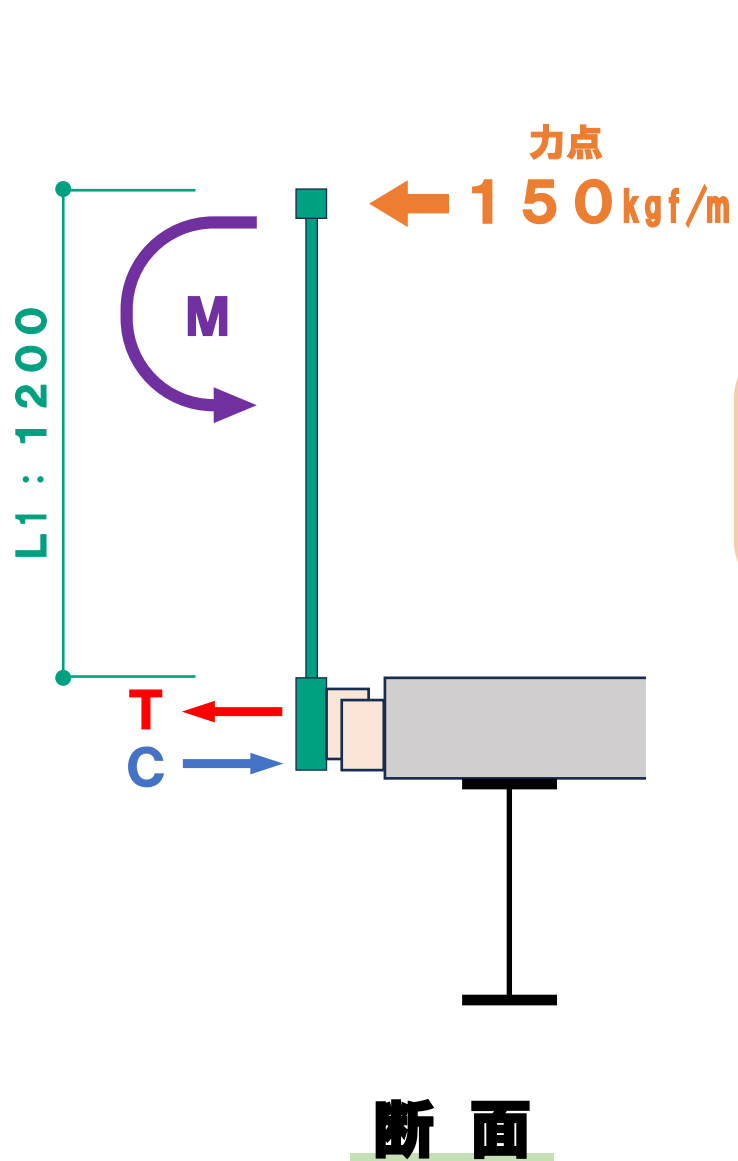
振止金物
St FB-6×50×50 SOP

SUSハンドレールφ38

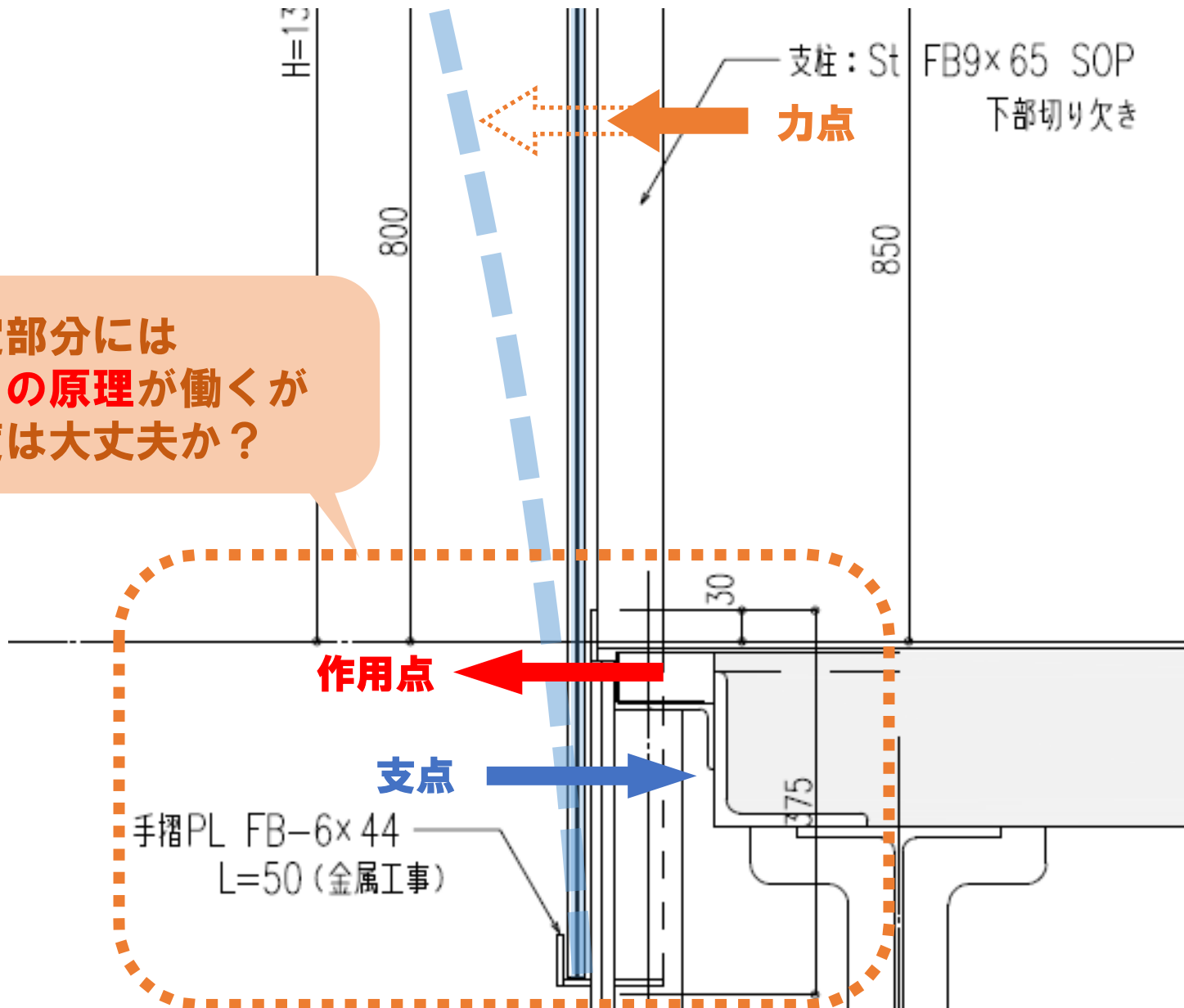
ハンドレール受:
St FB9 SOP

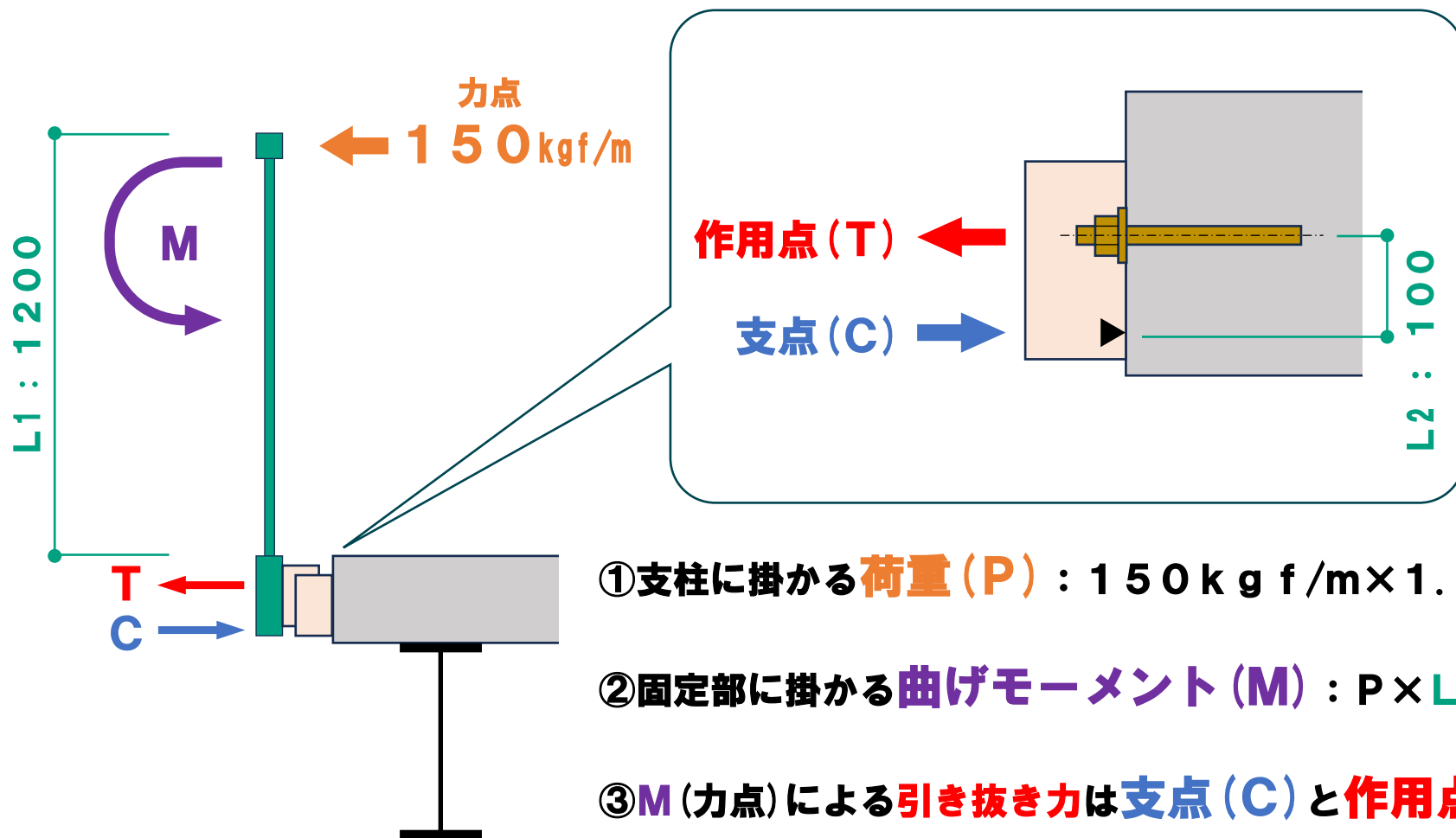
支柱: St FB9×65 SOP
下部切り欠き

手摺PL FB-6×44
L=50 (金属工事)



固定部分には
テコの原理が働くが
強度は大丈夫か？





CHECK

支柱ピッチ1000mm
(=1.0m)と仮定して
構造計算をしてみよう!

※1kgf=10N

断面

- ①支柱に掛かる荷重(P) : $150\text{kgf/m} \times 1.0\text{m} \therefore 150\text{kgf} \rightarrow 1.5\text{KN}$
- ②固定部に掛かる曲げモーメント(M) : $P \times L_1 (1.5\text{KN} \times 1.2\text{m}) \therefore 1.8\text{KNm}$
- ③M(力点)による引き抜き力は支点(C)と作用点(T)の距離(L2)によって決まる

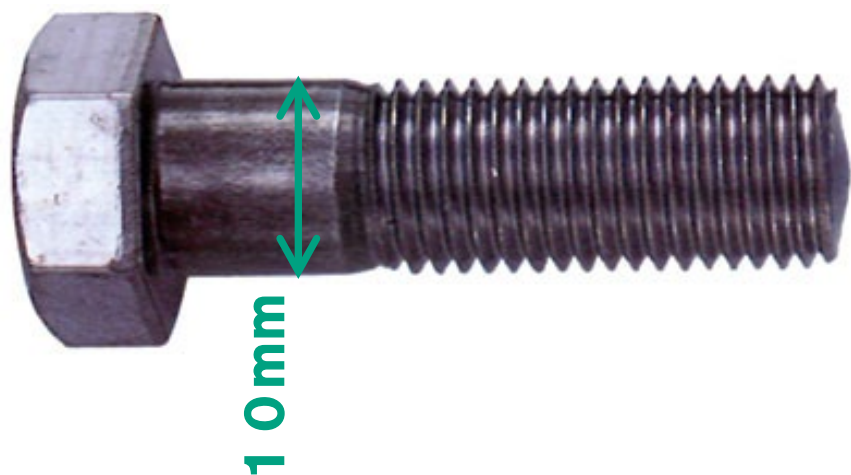
$$T = M \div L_2 (1.8\text{KNm} \div 0.1\text{m}) \therefore 18.0\text{KN} \rightarrow \underline{1.8\text{t}}$$



さて、**手すりの固定部には大きな力が掛かる**ことを知りましたが・・・

ここでミニクイズ！！

Q M10ボルトは何キロで切れる（せん断）でしょう？



終局せん断耐力の求め方

$$Q_u = A \times \sigma_u / \sqrt{3} \quad (\text{断面積} \times \text{終局耐力} / \sqrt{3})$$

$$= 78.5 \text{ (mm}^2\text{)} \times 400 \text{ (N/mm}^2\text{)} / \sqrt{3}$$

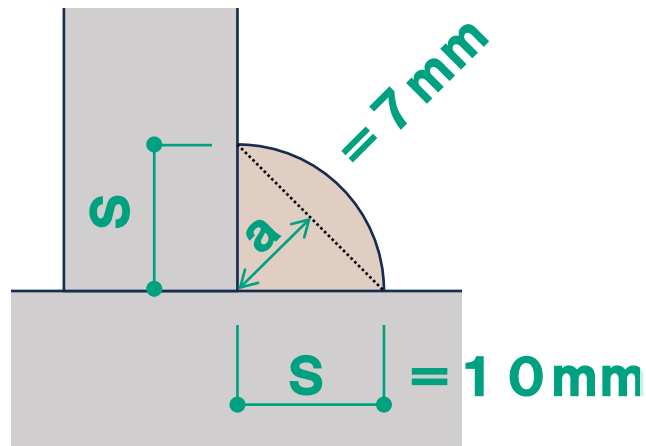
$$= 18150 \text{ (N)} \quad \therefore 18.2 \text{ kN} \rightarrow \underline{\underline{1.8 \text{ t}}}$$



さて、**手すりの固定部には大きな力が掛かる**ことを知りましたが・・・

もう1問ミニクイズ！！

Q 長さ1 cm・サイズ1 cmの**隅肉溶接**は何キロで切れるでしょう？



終局せん断耐力の求め方

$$\begin{aligned}
 Q_u &= a \times \sigma_u / \sqrt{3} \times L \quad (\text{のど厚} \times \text{終局耐力} / \sqrt{3} \times \text{長さ}) \\
 &= 7 \text{ (mm)} \times 400 \text{ (N/mm}^2\text{)} / \sqrt{3} \times 10 \text{ (mm)} \\
 &= 16185 \text{ (N)} \quad \therefore 16.2 \text{ kN} \rightarrow \underline{\underline{1.6 \text{ t}}}
 \end{aligned}$$



さて、**手すりの固定部には大きな力が掛かる**ことを知りましたが・・・

もう1問ミニクイズ！！

Q

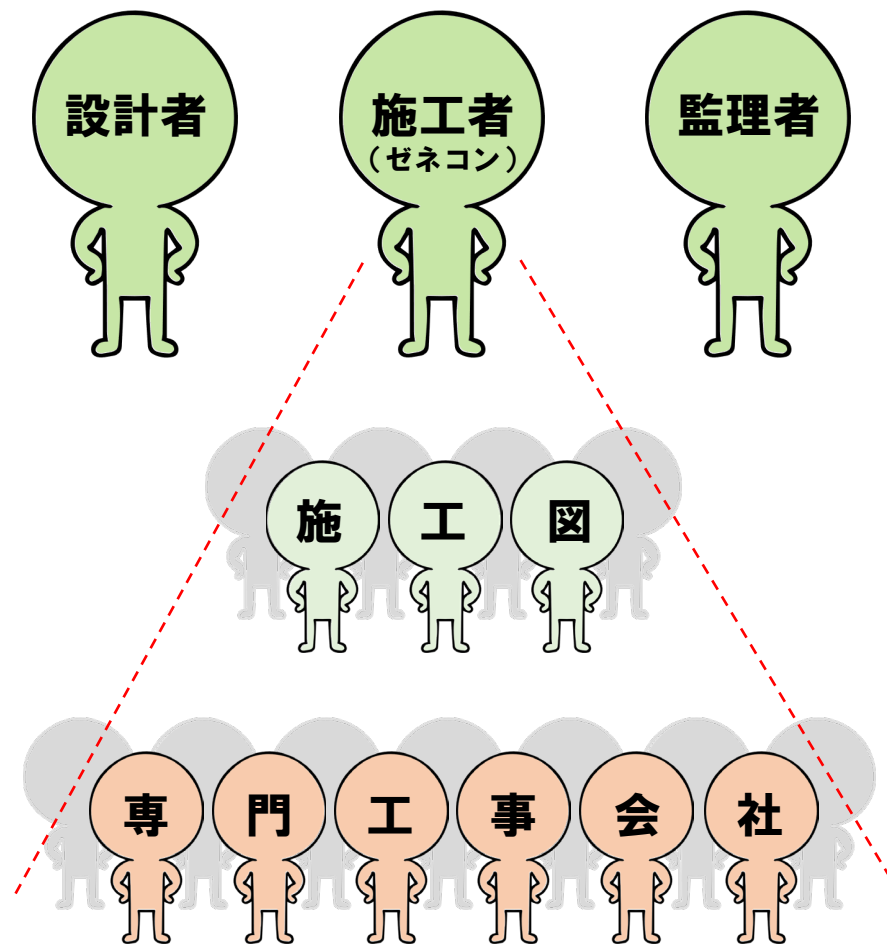
そろそろ疲れましたよね？

皆さんの心の声が聞こえますヨ…

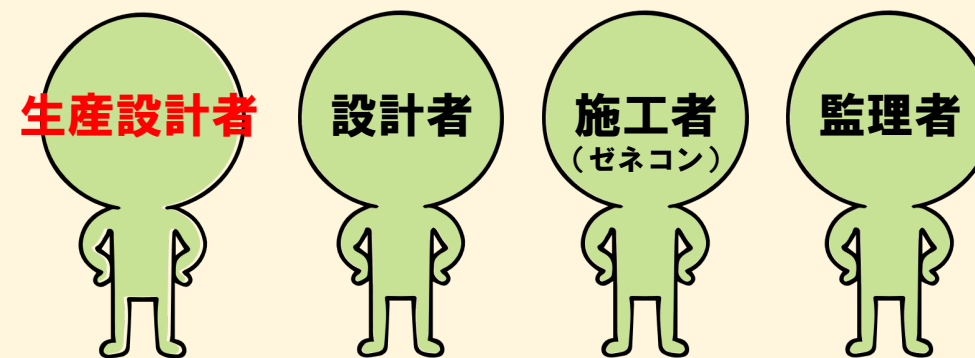


4 生産設計の今後

現在



今後



建物づくりにおいて
新たな設計者として
囑望されています



施工図分業から半世紀が経ち、より**建築の未来に貢献**するため、
2024年7月に「建築生産設計協力会」が発足



施工図分業から半世紀が経ち、より**建築の未来に貢献**するため、
2024年7月に「建築生産設計協力会」が発足



アイテック



池下設計



アルクデザイン



佐沼建築システムデザイン



建築生産設計協力会



岡野建築設計事務所



西建設計



sai テクニカ



sai 総合企画



YOU建築事務所



主な活動目的

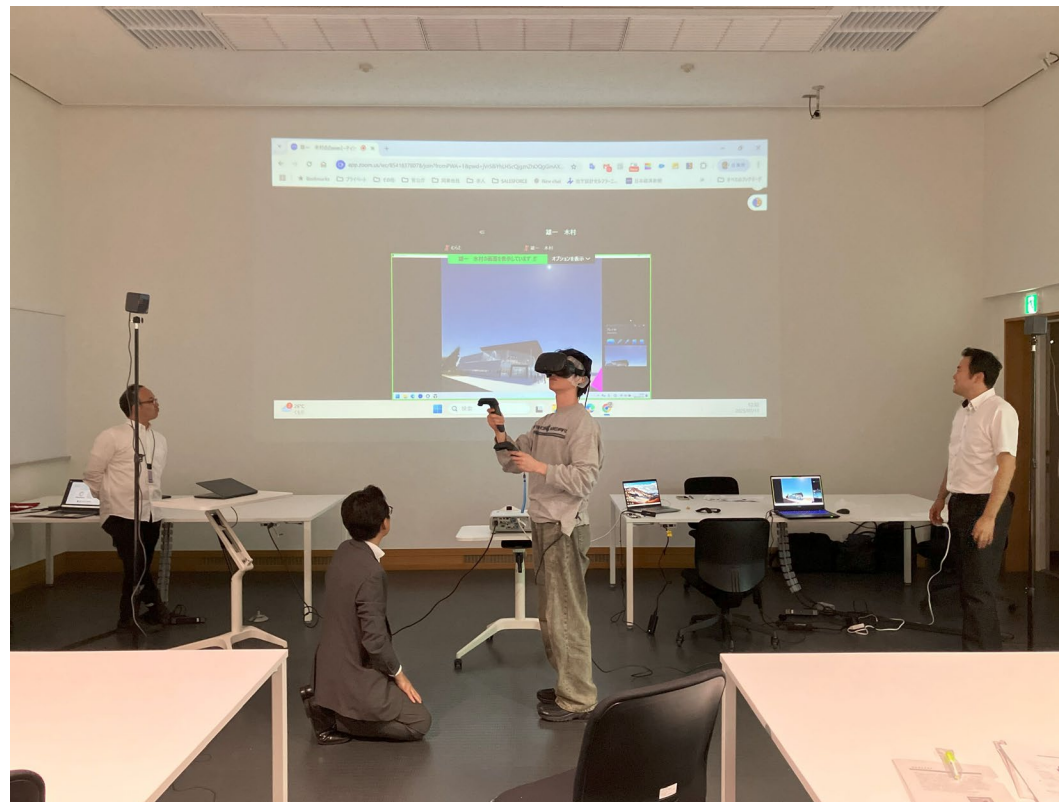
- ① 建築生産設計の**普及、啓発**事業
- ② 建築生産設計に関する**教材、書籍**などの企画、制作
- ③ 建築生産設計の業務範囲に関わる**職制**の制定
- ④ 建築生産設計の**標準化**事業
- ⑤ 建築生産設計に関わる**資格制定・認定**事業 など



実績) 合同研修会 実施



実績) 業界説明会 実施



実績) アルキテクトン 発行



生産設計特集

座談会——実務者と教育者が語る生産設計職の魅力

【出席者】

- 桑井 史憲さん (株式会社エヒロ設計事務所 副部長)
- 小林 勲氏 (株式会社佐沼建築システムデザイン 生産設計部課長)
- 佐藤 智甲氏 (アイテック株式会社 生産設計部)
- 花澤 瑞穂氏 (株式会社 ssi 総合企画 職人気質 係長)
- 村川 真裕氏 (株式会社池下設計 関東ブロック 営業課 チーフ)
- 川田 肇氏 (日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ建築学科建築設計科専任教員(主任))
- 村田 佐希氏 (日本工学院八王子専門学校テクノロジーカレッジ建築学科建築設計科専任教員)



■生産設計の役割や実務の現状は？

吉村 生産設計、いわゆる施工図は、一般的に言うところの設計図を基に納まりや寸法などの建築情報を施工者の視点で落とし込んだ図面です。建築現場では、多種多様な職種の工事が行われており、部材の取り合いや納まりを成立させるためには、異なる工種の施工情報を統合し、ゼネコンが施工するための図面が必要になります。施工図作成にあたって、私たちは設計図の納まりに不具合があれば施工者と検討し、設計者・監理者と協議の上、施工可能で品質も確保された図面を作成する役割も担っています。



吉村 真裕氏
日本工学院専門学校、経験年数15年。携わった主なプロジェクトに東京ミッドタウン日比谷、麻布台ヒルズ一級建築士。

花澤 生産設計業界は、売り手市場で人手が足りない状態です。生産設計の業界に入ってくる人材が多いわけでもなく、育てるのに時間もかかり、皆さんそれぞれの現場で苦労されていると思います。現場では多くの残業を余儀なくされる忙しい現場もあるようですが、今年から働き方改革法に関連して残業規制が厳しくなっており、ゼネコンもいろいろ取り組みをされておられ、私も生産設計業界として、法律に沿った仕事の進め方を考える必要があります。

佐藤 教育が大変だとおっしゃるようですが、正直、学校で勉強したことが結構大きなギャップがあります。学校の授業で、納まりについて教えるのは大変なんでしょう、それによって教えるのを正確に図面化するのには、学生にとって3年近くの間、さまざまな物件に関わらせてもらっていますが、物件ごとに全部納まりが違います。ケース・バイ・ケース



桑井 史憲さん
中央工科大学建築設計科、経験年数20年。携わった主なプロジェクトに東京ミッドタウン日比谷、朝日放送ビルなど一級建築士。

が本場にも多いので、テンプレートのような教える方ができないところ施工図の難しさでもあり、やり甲斐でもあります。現場がある職業ではありますが、施工図に関わっている人は丁寧に教えてくれる方が多く、経験を積ませていただいています。

■日本工学院での生産設計教育への取り組みは？

川田 生産設計教育といえるかどうか分かりませんが、日本工学院では従前からCAD教育とあわせてBIM教育に力を入れてきました。また、昨年度から履修カリキュラムを改訂し、2年生から本格的にBIMを学ぶ環境を整えているところです。本校では、1年生の後期からCAD教育を始めています。私が担当する建築学科は大学と同じ4年制で、現時点では2年生からCADを本格的に始め、3、4年生はBIMが必修です。BIMは、半年かければ誰でも使えるようになります。



小松 勲氏
中央高等技術専門学校、経験年数17年。携わった主なプロジェクトに東京ミッドタウン日比谷、麻布台ヒルズなど。



花澤 瑞穂氏
日本大学生産工学部建築工学科、経験年数8年。携わった主なプロジェクトに新日比谷P1広域環境施設、熱帯夜楽園ホテルなど。



佐藤 智甲氏
日本工学院八王子専門学校、経験年数3年。携わった主なプロジェクトに新日比谷P1広域環境施設、川口本町4-9再開発など。

が、先にもどのようなBIM教育を行うかが課題です。今までのBIMを使った設計課題では、構造的合理性や細部を度外視して、奇抜な形状をつくって満足しがちですが、その建築にどのような価値があるのか考えるところまで踏み込まないと、本当のBIM教育にならないと思います。

専門学校としても大学との差別化が不可欠で、建物の仕組みや施工方法に加え、端部やパレット (外壁と屋根の境界にある立ち上がり部分) などディテールについても学べるようなBIM教育を行わなくてはなりません。木造の軸組をBIMでどう表現するの難しさも、実際に住宅を建てた場所がありません。それにより、建築の立ち上がりや実態には関係ない内部に対する知識を少しでも持っている方が多いと思います。先ほど生産設計の業務で、より多くの建築に対する知識が求められるという話があったように、クリエイティブな部分に頼られず、建築として成立させる力を身に付けさせるのが、専門学校の建築教育の姿だと考えます。

村田 最初の教えるの依頼は人を送り出したから3年が経ち、その間、何人もの卒業生が学校を訪ねてきて、仕事ぶりについて報告してくれました。その中で生産設計業界に入った卒業生は、納まりなど細部を目を向けて作業するの楽しさを話しています。今日お集まりの5社からも毎年、求人票をいただいておりますし、多くの卒業生もお世話になっております。佐藤さんから学校教育と実際の業務とのギャップを指摘されましたが、

卒業生が生産設計の現場で一日でも早く活躍できるように、納まりのさわりだけでも教えておきたいと感じています。

八王子校はキャンパスが広く、ものづくり工場のように入居施設もあり、実寸大の木造平屋建て住宅を建設する実習系の授業を用意しています。仮設図を読み込んだり、簡単なモデルでも施工図を描いたりして現場監督役、職人役を決めて住宅建設の現場を再現しています。生産設計を知るきっかけになっていると思います。

川田 都心系キャンパスの雑田校は八王子校のような大規模な施設を持っていないため、実際に住宅を建てた場所がありません。それにより、建築の立ち上がりや実態には関係ない内部に対する知識を少しでも持っている方が多いと思います。先ほど生産設計の業務で、より多くの建築に対する知識が求められるという話があったように、クリエイティブな部分に頼られず、建築として成立させる力を身に付けさせるのが、専門学校の建築教育の姿だと考えます。

村田 八王子校では今年3年生から、実際にBIMを使って様々なディテールにも挑戦する授業も始めました。有名建築物の図面を学生全員に配り、BIMソフトのRevitやArchiCADを使って、モデリングさせています。当初は、納まりなどを考えずに、とりあえず図面を付けておきたいのかなと思っていましたが、意外とか「上り戸なんですか」「戸車を使っているのですか」といった質問も出て

■生産設計を仕事に選んだきっかけは？

吉村 大学では意匠設計を中心に学びましたが、正直、こんな数社やピンチ側面図で実際に建てられるのかなと疑問に思いつつ、図面や模型をつくってました。大学3年次に、地下設計のインターンシップに2週間参加した時、0.1mm単位で、施工に必要な情報を最大限に書き込む生産設計という仕事と出会い、その図面があって初めて建物がつくると知りました。私もどちらかというところ、最近より生産設計の方が情熱的に向いているという職業活動の選択の一つになり、最終的に地下設計に就きました。インターンシップに参加するために会社側の意向や生産設計の仕事の一端を知ることができ、就職先を選ぶ判断材料になったので、参加して良かったと思います。

花澤 私もインターンシップがきっかけです。建設現場に関わる仕事を探そうと、施工管理は3Kのイメージがありました。それに対し、建物を実現するために詳細な図面を描くという生産設計の仕事の面白さを知り、入社しました。

小林 当初は意匠設計を志望していましたが、社会人になって最初の現場が施工管理



実績) 日刊建設工業新聞 掲載 (2025年7月24日)

2年目は足元固める活動に注力



若手社員を対象にした勉強会を開催している。ゼネコンの研修施設や現場見学を行い、若手の知見を広げる。業界のポトムアップ、発展に貢献する活動を推進していく。集まったことのメリットであり、こうした活動を通じて各社がヒントをもらい、成長に向けた新たな取り組みや自社の魅力向上につなげてほしい。

掲載するなど、生産設計を知ってもらう活動を積極的に展開してきた」

設立2年目の取り組みは、

「足元を固める活動を行う。引き続き学校、学生へのアピールを最も重要な事業として取り組むとともに、1社でも多く会員を増やしたい。協力は何をやっていくのかという不安を払拭する活動を展開し、施工業界で活躍する会社に安心して入ってもらいたい」

具体的には、

「人材の育成や技術力の向上を目指し、会員企業の

学生へのアピール、入会促す取り組み展開

「現場ごとに生産設計を営む会社でJVを組成するケースはよくある。大規模な建築現場では施工図作成に100人ぐらい必要となる。協会の会員企業でJVを組むことで業務のスタート時点から結束感が生まれ、図面品質の向上などにつながる。ゼネコンや専門工事会社に対しても存在をアピールし応援いただき、一緒にいい建物づくりをしていきたい」

今後の展望を、

「建築生産設計の職能や業務は単に施工図の作成だけでなく、コストや工期を見ながら図面を管理し完成形に持っていくマネジメントも期待されている。ゼネコンの協力会社として、図面に関するマネジメントを担える人材を育て輩出し、生産設計業務、施工図業界のステータスを上げていきたい。認知度を高めることで、将来的には建築生産設計に関わる資格制度の創設も見えてくるだろう」

「国内で施工図を書ける人が、どの地域に何人いるのか分からないのが実情だ。ゼネコン各社では協会社数を把握しているが、重複している社もあり、実際に業務を行っている総数は把握できていない。建物づくりに関わることなので、生産設計の団体として把握したいと考えている」。



意匠図、構造図、設備図の情報を統合し、施工に必要な詳細を示した「施工図」。この図面を作成する生産設計は建物の品質やコストに直結し、完成度を高める重要な役割を担う。生産設計の認知度向上や人材の獲得と育成を目的に、生産設計に携わる企業が集まり任意団体「建築生産設計協会」が2024年7月に活動を始めた。中村務会長に設立の経緯や今後の展望を聞いた。

——協力を設立した狙いは、

「施工図業界は50年ほど前、ゼネコンの施工図作成業務の代行から始まった。施工図は建物の品質やコスト、工期につながる重要な図面で、建設には欠かせないものだ。やりがいの大きい仕事だが、建築生産設計という職能の社会的認知度は十分と言えない。人材確保と育成が喫緊の課題となる中、各社の連携を緊密にし、業界の活性化や認知拡大に取り組みもつと昨年7月に協力を立ち上げた」

——この1年の活動状況は、

「建築系の学校や建築を学ぶ学生に向けて、生産設計業務や施工図の重要性をアピールする活動に力を注いできた。学校での説明会などを通じて、生産設計の定義や作成図面の説明はもちろん、2DCADやBIMといったツールの紹介、業界展望など幅広い情報を提供した。『Architect on首都圏39号』（発行・総合資格）といった出版物に業界の仕事内容ややりがいを分かりやすく

時流自流

SDGs) 持続可能(サステイナブル)な開発目標

人々が豊かな生活を送り続けられる「建物・環境づくり」に向けて . . .

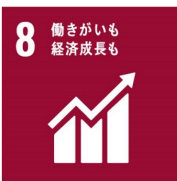


SDGs) 持続可能(サステナブル)な開発目標

建築生産設計協力会は**4つの開発目標**を掲げています！



生産設計者の**拡大**を目指そう！！



高い**付加価値**の提供・更なる**技術力**の向上を目指そう！！



誰もが**安全**で使いやすい建物づくりに**貢献**しよう！！



建物づくりにおいて、様々な**パートナーシップ**を育もう！



最後に・・・

我々、生産設計者は**アーキテクトとエンジニアの両方**を兼ね備えてなければなりません

自ら描いた図面がそのまま現実のものとなるため、 厳しく難しい世界でありながらも、

建物が完成した時にはとても**やりがい・達成感**を感じることができます

今日の講話を聞いて頂き、一人でも多くの方に興味を持って頂けたならとても幸いです

いつか一緒に建物づくりが出来ることを心より願っております



ご清聴ありがとうございました

